

令和4年度

事業報告書

北九州市社会福祉協議会
地域福祉部 研修課

(北九州市社会福祉ボランティア大学校)

目次

1 事業の総括	1
2 研修実施状況一覧	2
3 研修実施内容	
(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成	
○ まちづくりセミナー	7～8
○ 新たな社会問題に対応する講座	9～12
○ ふくしのまちづくり講座	13～34
○ 市民講演会	35～37
(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成	
① 入門者	
○ 福祉有償運送運転協力者研修	38～49
○ 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座	50～51
○ プチ（小さな）ボランティア養成講座	52～55
○ 災害ボランティア養成講座	56～59
② 活動者	
○ 送迎ボランティア・フォローアップ研修	60～61
③ リーダー	
○ ボランティアリーダー研修	62～63
(3) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成	
① 現任者	
○ 現任福祉協力員研修	64～77
○ 地域福祉活動専門研修	78～79
② 役員	
○ 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	80～81
○ 校（地）区社協新任役員研修	82～83
○ まちづくりゼミナール	84～85
(4) 企業・社会福祉法人におけるボランティア・市民活動者の育成	
○ 企業の社会貢献活動セミナー（オンライン開催）	86～87
○ 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー（オンライン開催）	88～89
(5) ボランティア・市民活動支援者の育成	
○ ボランティアコーディネーター研修	90～91

1 事業の総括

社会福祉ボランティア大学校では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、地域共生社会の実現と孤独・孤立防止をメインテーマに、様々な課題を抱えた子どもや高齢者、身近に悩みを打ち明けられる人がいない方等を支援するため、福祉の視点から人材の養成・育成を目指した研修を実施し、新たな活動の担い手を養成しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を取りつつ、ウィズコロナに向かう社会の流れに合わせて、段階的に対面型研修を再開していき、延べ1,853人が研修を受講しました。

継続して重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、地域の人材発掘や地域の課題発見、解決を目指し、各校(地)区社協、市・区社協協働で講座を企画し、地域住民による小地域福祉活動の充実をはかりました。あわせて、講座をきっかけとして、新たな活動の担い手を養成しました。

新規の取り組みとしては、本会の新規事業である「終活相談事業」と連携し、「まちづくりセミナー」等で終活をテーマに取り上げて実施しました。事業の広報を始め、市民の終活へのニーズキャッチや相談窓口利用、エンディングノート活用等で、社会問題となっている新たな困りごとへの支援力・自助の力の向上と事業の円滑な実施を図りました。

受講後の成果として、「子育て支援ボランティア養成講座」では5名の受講者が子ども食堂などでボランティア活動を始めることとなりました。「聴覚に障害のある人へのボランティア入門講座」では障害者アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法施行を社会背景に、手話を通じたコミュニケーションと障害のある方への支援について学ぶ講座を実施し、5名の受講者を活動窓口へつなぐことができました。

ICTの活用については、3つの研修で実施しました。「地域福祉活動指導者研修『トップセミナー』」では対面型と動画配信を併用実施し、「企業の社会貢献活動セミナー」と「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」では職場から参加しやすいオンライン研修とするなど、それぞれの研修内容や受講者に合わせた形式で研修を行いました。

今後も、地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進していくため、活動に取り組みやすい環境づくりや研修を通じた課題の整理などを、関係機関や団体と連携・協働しながら、事業を推進してまいります。

2 研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- まちづくりセミナー 詳細 No.1
- 新たな社会問題に対応する講座 詳細 No.2
 「子育て支援ボランティア養成講座」
 「電話を通じて寄り添い、心の声を聴くボランティア講座」
- ふくしのまちづくり講座 詳細 No.3
- 市民講演会 詳細 No.4

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	3	3	85	12
新たな社会問題に対応する講座 「子育て支援ボランティア養成講座」 「電話を通じて寄り添い、心の声を聴くボランティア講座」	市民	2	1	2	45	8・11
ふくしのまちづくり講座	校(地)区住民	11	2～3	22	653	5～3
市民講演会	市民	1	1	1	45	11
計		15	—	28	828	—

※ふくしのまちづくり講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1校(地)区1回分を次年度に延期した。

また、R3年度新型コロナウイルス拡大防止のため今年度に延期となった2校(地)区の実績を含む。

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

- ① 入門者
 - 福祉有償運送運転協力者研修 詳細 No.5
 - 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座 詳細 No.6
 「聴覚に障害がある人へのボランティア入門講座」
 - プチ(小さな)ボランティア養成講座 詳細 No.7
 - 災害ボランティア養成講座 詳細 No.8
- ② 活動者
 - 送迎ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.9
- ③ リーダー
 - ボランティアリーダー研修 詳細 No.10

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送 運転協力者研修	福祉有償運送実施 団体に運転を希望 する者	3	2	6	87 (うちセダ ン型20人)	6・10・2
	障害への理解を深め、はじめよう ボランティア入門講座 「聴覚に障害のある人へのボランテ ィア入門講座」	市民	1	1	1	27	9
	プチ(小さな)ボランティア 養成講座	市民	2	1	2	40	11・3
	災害ボランティア養成講座	市民	2	1	2	63	7・9
活動者 リーダー	送迎ボランティア・ フォローアップ研修	送迎ボランティア	1	1	1	16	7
	ボランティアリーダー研修	リーダー 次期リーダー	1	1	1	16	10
計			10	—	13	249	—

(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

① 現任者

- 現任福祉協力員研修 詳細 No.11
- 地域福祉活動専門研修 詳細 No.12

② 役員

- 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」 詳細 No.13
- 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 詳細 No.14
- まちづくりゼミナール 詳細 No.15

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
現任者	現任福祉協力員研修	現任福祉協力員等	7	1	7	266	10～12
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社協の実務者	1	1	1	114	12
役員	地域福祉活動指導者研修 「トップセミナー」	校(地)区社協役員	1	1	1	211	3
	校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修	校(地)区社協新任役員	1	1	1	104	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社協・まちづくり協議会役員、 民生委員等	1	3	3	43	9～11
計			11	—	13	738	—

※「トップセミナー」は、対面型、動画配信の併用実施。

(4) 企業・社会福祉法人におけるボランティア・市民活動者の育成

- 企業の社会貢献活動セミナー(オンライン開催) 詳細 No.16
- 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー(オンライン開催) 詳細 No.17

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業の社会貢献活動セミナー (オンライン開催)	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	11	1
社会福祉法人の社会貢献活動セミナー (オンライン開催)	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	16	2
計		2	—	2	27	—

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

○ ボランティアコーディネート研修

詳細 No.18

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
ボランティアコーディネート研修	施設・団体等でボランティアコーディネーションに関わる職員	1	1	1	11	7

3 調査・研究・広報

(1) 広報紙・パンフレット・事業報告書の作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『北九州市社協だより』掲載)	160,000部	令和4年5月1日・8月1日 11月1日・令和5年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,200部	令和4年4月1日
令和3年度事業報告書	HP掲載	令和4年6月28日

4 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成30年度	12	36	1,216
令和元年度	13	34	1,152
令和2年度	17	33	978
令和3年度	17	33	916
令和4年度	15	28	828

(2)テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 30 年度	11	15	346
令和元年度	10	14	365
令和 2 年度	10	13	283
令和 3 年度	10	13	217
令和 4 年度	11	13	249

(3)小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 30 年度	19	21	1,354
令和元年度	19	21	1,363
令和 2 年度	22	24	826
令和 3 年度	11	13	598
令和 4 年度	11	13	738

(4)企業におけるボランティア・市民活動者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 30 年度	2	2	45
令和元年度	1	1	20
令和 2 年度	2	2	49
令和 3 年度	2	2	33
令和 4 年度	2	2	27

(5)ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 30 年度	2	2	37
令和元年度	2	2	33
令和 2 年度	2	2	38
令和 3 年度	2	2	17
令和 4 年度	1	1	11

(6)延べ研修参加人数

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 30 年度	46	76	2,998
令和元年度	45	72	2,933
令和 2 年度	53	74	2,174
令和 3 年度	42	63	1,781
令和 4 年度	39	57	1,853

令和4年度 まちづくりセミナー 実施要領

自分らしい人生のこれから終活プラン

～終活×循環型まちづくり～

1 目的 少子高齢社会の中、「人生100年時代」とも言われる近年、高齢で身寄りがなく将来を託す人がいない方や、身内に迷惑をかけたくない方を中心に「終活」が注目されています。

本セミナーでは、「終活」に関連する、葬儀や納骨、遺言・相続等の基礎知識を学ぶとともに、自分らしい「エンディングノート」について考えます。

あわせて、あなたが生きてきたまちの将来を思い、ご自宅（持ち家）の活用による、地域貢献や空き家防止による福祉の循環型社会の可能性についても考えます。

人生の終わりと、これからについて、また人生の終わりに取り組みたい社会貢献などについて一緒に考えていきませんか。

2 実施主体 北九州市社会福祉協議会・北九州市

3 会場 ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

4 対象者 テーマに関心のある方 30名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。

5 受講料 700円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）

6 研修日程・内容

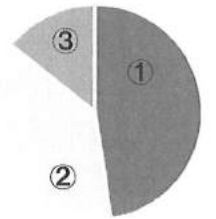
時間	内容	講師等
① 12月 3日 (土) 10:00 ～ 12:00	終活とは ～自分らしい人生の終え方プラン～ 遺言と相続の基礎知識	株式会社イフケア北九州 終活カウンセラー協会認定終活講師 代表取締役 神田 紀久男
② 10日 (土) 10:00 ～ 12:00	エンディングノートの書き方 終活相談事業について	北九州市社会福祉協議会 権利擁護・市民後見センター 主事 藤本 直子
③ 17日 (土) 10:00 ～ 12:00	持ち家の空き家予防対策 終活を通じたまちづくりについて考える	北九州市建築都市局 都市再生 推進部 空き家活用推進課 課長 崎田 禎之 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	34 人	33 人	85 人	69.2 才		3 日	6 時間
	10・24 人	97.1 %					

■ 実施状況

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回数)		満足できた	どちらとも言えない	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	21 件		10	8	3	0	0
	91.3 %		47.6%	38.1%	14.3%	0%	0%




主な意見	■ 法律上の意思表示の大切が良く理解出来ました。今回受講して、大変勉強になりました。全体的に講義の内容が理解できました。
	■ エンディングノートについて、身近な問題として考える機会を頂けたと思いました。
	■ 自分の終活は、自分、家族のことだけではなく、市の未来にもつながることを確信しました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 終活をテーマに必要な知識、エンディングノートの作成、そして、地域貢献について考えた。参加者は約9割が60代以上だった。みんな真剣に受講していた。
	■ 学びが多い研修だと、どの回も高評価だった。
	■ この研修をきっかけに、「終活について整理できた」、「具体的に動き始めた」との声が多数聞かれた。今後も身近な問題に焦点をあて、研修を開催したい。

■ 研修風景

<p>一日目 終活とほく自分らしい人生の終え方プラン 遺言と相続の基礎知識</p>		<p>二日目 エンディングノートの書き方 終活相談事業について</p>	
<p>三日目 持ち家の空き家予防対策 終活を導いたまちづくりについて考える</p>		<p>三日目 ディスカッション</p>	

「子育て支援ボランティア養成講座」 実施要領

～新たな社会問題に対応する講座～

- 1 目的** 子どもはみな、若木のように伸び伸びと健やかに育つ力を持っています。
しかし、成長する過程では、悩んだり、鍵っ子で淋しい思いをしたり、貧困、虐待、いじめによる、不登校、自殺など、厳しい環境にさらされる時もあります。子どもがそのような状況で助けを求めた時、差し出した手を握り返し、暖かな陽の光を注ぎ、子どもの育つ力を助けるようなボランティア活動について学びます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 子どもに向けたボランティア活動に意欲的な方（定員30名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 令和4年8月26日（金）

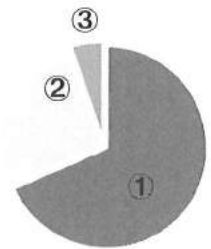
日時	内容	講師等	
8月26日 (金)	13:00～	受付	
	13:30～	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	13:45～ 14:25	子どもから高齢者まで多世代共生の居場所づくり～子ども食堂とは～	北九州市子ども家庭局 子育て支援課 子ども食堂担当係長 上島 未知人
	14:25～ 15:15	子ども食堂の取り組みと私たちの活動について～ボランティアはじめてみませんか～	門司区：食育 五つの力 広報 徴 純子
	15:15～ 15:25	休憩	
	15:25～ 16:15	みんなで遊んで、楽しく食事、地域の居場所 子ども食堂～気軽に立ち寄ってみませんか～	小倉北区： 子ども食堂☆きらきら清水 代表 山縣 郁子
	～16:30	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	22人	20人	20人	61.5才		1日	3朝
	3・19	90.9%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回線)		満足できた	どちらかと言えど満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	20件	満足できたか?	13	5	1	0	0
	100%		65.0%	25.0%	5%	0%	0%



主な意見	■ 貧困家庭の子どもがご飯を食べに行く所と思っていた。講義を聞いて考えを変えた。
	■ 食べさせるだけではなく、子供達と色々な事ができるように工夫され、活動されているのに感心した。
	■ 立ち上げの思いを持ち続ける事で、今があるのだと思う。自分達の思いが周りを動かし、協力者が増え、大きな輪になり、とてもすばらしいと思います。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 子ども食堂の活動紹介は、立ち上げや運営経費、多世代の方やボランティアの関わり方など、食堂を運営される方の現状の生の声を届けられた。
	■ 受講者の子ども食堂に対する関心度が高く、テーマ毎に質疑応答の時間を設けた際は経費や市民センターへ協力要請する部分、食材の調達、保管フローなど具体的な質問が出た。
	■ 講座が子ども食堂ボランティア参加への契機となり、4人の参加登録及び直接申込1名があった。

■ 研修風景

オリエンテーション		子どもから高齢者まで多世代共生の居場所づくり子ども食堂のとは	
子ども食堂の取り組みと私たちの活動についてボランティアはじめてみませんか		みんなであそんで、楽しく食事、地域の居場所 子ども食堂へ気軽に立ち寄りませんか	

「電話を通じて寄り添い、心の声を聴く ボランティア講座」 実施要領

～新たな社会問題に対応する講座～

- 1 目的 悩みを抱え困難な状況にあるが、打ち明けられる人がなく、つらい状況を分かち合えない人や、大人にSOSを出せない子ども等が、孤立し、孤独な状態で電話をかけてきた時、丁寧に心を込めて聴き、寄り添い、話を聴くことで相談者の癒しとなり、心の居場所となれるようなボランティア活動について学び、活動へつなぎます。
- 2 実施主体 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場 ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者 電話での傾聴ボランティア活動に意欲的な方（定員30名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料 700円（研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容 令和4年11月19日（土）

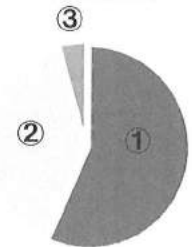
日時	内容	講師等	
11月19日 (土)	13:00～	受付	
	13:30～	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	13:45～ 14:25	私たちを取り巻く社会情勢から ～孤独・孤立防止の取り組みの必要性とは～	北九州市保健福祉局 地域福祉部地域福祉推進課 地域福祉推進係 孤独・孤立対策担当係長 中江 伸也
	14:25～ 15:15	ボランティアはじめてみませんか —電話でつながる心の居場所・子どもに寄り添い、聴く— ～チャイルドライン北九州から発信～	NPO法人 チャイルドライン北九州理事長 北九州市立大学名誉教授 河嶋 静代
	15:15～ 15:25	休憩	
	15:25～ 16:15	悩みや不安を聴き、相談者が自分の進むべき道を見出せるよう、共に考え支える ～北九州いのちの電話から発信～	社会福祉法人 北九州いのちの電話 副理事長 研修委員長 富安 兆子
	～16:30	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	31 人 6・25	25 人 80.6%	25 人	63.3 才			1 日	3 曜日

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	24 件 96%		13 54.2%	9 37.5%	1 4.2%	0 0%	0 0%



主な意見

- 「電話でいのちをつなぐ」ことの大切さが理解できた。
- 「独り」「孤独」「孤立」とても難しく、重いテーマである事に、色々な分野で取り組みが行われていることを知る事ができ、貴重な体験でした。
- 心の声を言葉に発するだけでも、一歩進めない子供達の支えになりたいと思う。今すぐにはできないが、今日の講座を聞いて、私もきっかけになりたい。

■ 事業点検

点検・講評
(今後の取り組み)

- それぞれの講師が深い思いから活動されている熱い講義内容に、受講者が大変感銘を受けている様子であった。
- 今回の講座で孤独・孤立防止に対する関心は高いものの、今すぐボランティア活動に参加ではなく、何年か後に参加を希望される声が多かった。
- 孤独・孤立の理解・実態がわかる講座の組み立てで、良く理解できたと好評だった。

■ 研修風景

開会挨拶 平野事務所長		北九州市保健福祉局 地域福祉推進課 孤独・孤立対策担当係長 中江 伸也氏	
チャイルドライン北九州理事長 河嶋 静代氏		社会福祉法人 北九州いのちの 電話 副理事長 富安 兆子氏	

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座（門司区・藤松校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
- 藤松校区では、福祉協力員や民生委員・児童委員・地域住民を対象に、みんなで連携して、誰一人取り残さない避難のための災害時の要支援者対策の充実を目指し、他都市の被災地の現状から、ノウハウなどを学び、藤松の対策に活用することを参加者で考えます。
- 2 実施主体** 藤松校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 藤松市民センター（北九州市門司区上藤松2丁目3-31）
- 4 対 象 者** 福祉協力員、民生委員・児童委員、社協役員、地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「みんなでつくろう安全・安心なまち藤松」
- 7 研修日程・内容**

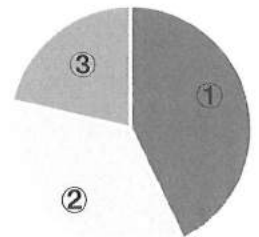
日 程		内 容	講 師 等
一日目 2月 17日 (金)	19:10 ～ 19:15	開 会	藤松校区社会福祉協議会 会長 吉元 一徳
	19:15 ～ 19:25	「藤松校区での防災対策の取り組みと現状」	藤松校区市民防災会 副会長 三谷 次雄
	19:25 ～ 20:20	【講 演】 「災害が起きたら？避難の話～被災地の取り組みを知り、考える～」	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
二日目 3月 1日 (水)	13:30 ～ 14:40	【グループワーク・講演】 「災害を経験した藤松の強みは何か。弱みは何か。～今の取り組みについて、取り残さない支援のために新たな視点で考えよう～」	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
		「避難しない方の行動を変えるためには何が必要か」	
	14:40 ～ 14:50	「ふくしのまちづくりのために」	藤松校区社会福祉協議会 事務局長 上田 篤彦

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	26 人	26 人	42 人	— 才			2 日	2.5 時間
	—	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言いにくい	あまり満足 できなかった	不満だった
	14 件 87.5 %		6 42.9 %	5 35.7 %	3 21.4 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 要支援者と一緒に避難するということだが、高齢者が多い藤松校区ではちょっと難しい気がする。
	■ 率先避難者であれという言葉が心に残った。心がけていきたいと思った。
	■ 避難所の取り組みの遅れの実情が理解できた。
	■ 防災の連絡網があるとのことだったが、下までおいていない。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 藤松校区では、災害の経験がある山側の地区と災害経験のない海側地区とに分かれており、密を避けるために今回は山側の地区の福祉協力員と校区社協役員が参加し、開催した。校区の災害対策は防災リーダー中心に取り組みを行ってきたが、福祉協力員への周知・共有は初めてであり、要支援者のためにも、必要性は高いと思われる。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		二日目「藤松校区での防災対策の取り組みと現状」	
二日目「災害が起きたらどう避難の話、被災地の取り組みを知り、考える」		閉会	

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座（門司区・小森江東校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
小森江東校区では、「声かけ、見守り、思いやりで地域の絆を」をスローガンに、講座を通じて、高齢化が進む地域の中で住民自身が健康づくりや介護予防に取り組み、共有することで、支え合いの輪を広げ、暮らしやすい地域に向けて考え、学び、取り組むきっかけとします。
- 2 実施主体** 小森江東校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 小森江東市民センター（北九州市門司区風師3-9-20）
- 4 対 象 者** 福祉協力員（町内会長）、民生委員・児童委員、校区にお住まいの方、社会福祉施設 等
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「小森江東でずっと暮らしたい！支え合いのまちづくり」

7 研修日程・内容

日 程		内 容	講 師 等
一日目 3月 17日 (金)	14:00 ～ 14:05	開 会・オリエンテーション	小森江東校区社会福祉協議会 副会長 近藤 栄之進
	14:05 ～ 14:35	【グループワーク・情報交換】 「支え合いのまちづくり～ふれあい ネットワーク活動について～」	小森江東校区社会福祉協議会 会長 都城 俊彰
	14:35 ～ 15:30	【講 演】 「介護保険のしくみについて～利用 するのはどんな時？～」 ・質疑応答	特別養護老人ホーム すみれそう 生活相談員 吉村 理恵
二日目 4月 18日 (火)	14:00 ～ 15:20	【講 演】 「介護予防にみんなで健康づくり～ フレイル予防のやさしい筋トレと楽 しい脳トレ～」	活法整体技療士 神納 直子
R4に延期 し実施予定	15:20 ～ 15:30	閉会	小森江東校区社会福祉協議会 事務局長 中原 稔

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	18人	18人	18人 (R3 18)	—			1日	1.5時間
	—	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回数)		満足できた	どちらかと言と満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	件	満足できたか?					
	%		%	%	%	%	%

主な意見	■ すみれそうの講師の話は分かりやすく、相談に行こうかなと思う参加者もいるのではないかと思います。
	■ 介護やケアマネージャーなどについて少し理解することができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 小森江東校区では、地域の障害者福祉施設と協働で、自分で買い物に行くことが難しい高齢者のために買い物支援を行うモデル事業をはじめた先進校区である。今回の講座は福祉協力員・民生委員中心に参加されたが、介護保険についての知識がまだ浸透していないので、校区の要望があり今回の研修で周知を行った。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		二日目「支え合いのまちづくりのめざすネットワーク活動について」	
二日目「介護保険のしくみについて」 利用者の方の疑問・質疑応答			

— 令和3年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区 小森江西校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
小森江西校区では、講座を通して、参加者が、ふくしのまちづくり計画や地域での取り組みへのやりがい・楽しみ方などを知ることが目的としています。
- 2 実施主体** 小森江西校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 小森江西市民センター (門司区矢筈町5-4 2)
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、校区の助け合い活動に参画する方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「スタート!『小西 安心お助け隊』」
- 7 研修日程・内容**

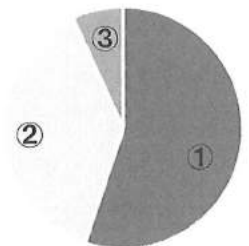
日 程	内 容	講 師 等
一日目 R3 10月 21日 (木)	19:00 ~ 開 会・オリエンテーション	小森江西校区社会福祉協議会
	19:10 ~ 21:00 報 告 「小西 安心お助け隊委員会」 と校区のこれから	小森江西校区社会福祉協議会 会 長 森川 征彰
	説明・意見交換 「小西 安心お助け隊委員会」 ~小地域福祉活動第1次計画~	小西 安心お助け隊委員会 委員長 安藤 博之
二日目 R4 11月 17日 (木)	小西安心お助け隊について (10分)	小西安心お助け隊委員会 委員長 安藤 博之
	18:00 ~ 19:20 他地区の地域生活支援活動について 聞いてみよう 「たかすちょこっと応援タイ」 (60分)	若松区高須地区社会福祉協議会 会長 香月 英彦 地域生活支援相談員 山本 直子 香月 利都子
	小西安心お助け隊の 今後について (10分)	小森江西校区社会福祉協議会 会 長 吉田 浩二
	~ 19:30 閉 会	小森江西校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	41 人	31 人	53 人	— 才			2 日	3.5 時間
	—	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	回数		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	29件		16件	11件	2件	—	—
	93.5%		55.2 %	37.9 %	6.9 %	%	%



主な意見	■ 地域で助け合いが必要になる。
	■ 「安心お助け隊委員会」はとても良いことだと思う。
	■ お助け隊について活動をわかりやすくお話いただきありがたかった。
	■ 地域の連携、つながりの大切さがわかった。目的に進んでおり素晴らしい。
	■ きちんと組織化して実行されていることに感動しました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 現在の校区の様子とこれからのことを会長が話し、お助け隊の説明があった。
	■ より住みやすい校区にするために、住民と一緒に考える機会になった。
	■ 先進校区事例発表は刺激になり、住民の地域づくりへのモチベーションが上がった。

■ 研修風景

<p>1 10 目</p> <p>「小西 お助け隊委員会と校区のこれから」</p>		<p>1 10 目</p> <p>「小西 安心お助け隊委員会と小地域福祉活動第2次計画」</p>	
<p>2 10 目</p> <p>「他地区の地域生活支援活動について聞いてみよう」</p>		<p>2 10 目</p> <p>「小西安心お助け隊の今後について」</p>	

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉北区・貴船校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
 貴船校区では、令和2年度より災害に強い町をテーマとした取り組みを進めてきました。ふくしのまちづくり講座では、防災についての学びを深め、支え合えるまちづくりを目指します。また講座を通じて、地域活動への関心を高めるとともに、課題解決や地域で活躍できる人材の獲得を図ります。
- 2 実施主体** 貴船校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 一日目 大和ハウス立体駐車場（小倉北区貴船3-1）
 二日目 貴船市民センター（小倉北区白銀1-5-8）
- 4 対象者** 校区役員、福祉協力員、町会長、民生委員、関係機関・施設等
- 5 受講料** 無料
- 6 タイトル** 災害に強い支え合いのまち『貴船』

7 研修日程・内容

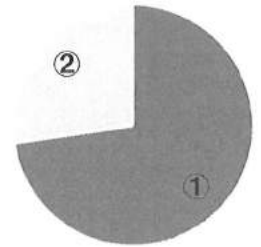
日 程		内 容	講 師 等
一日目 12月 11日 (日)	9:30 ～	情報伝達訓練	貴船校区社会福祉協議会 公立大学法人 北九州市立大学 基盤教育センターひびきの分室 准教授 村江 史年
	10:30 ～	避難訓練 非常食について	
	11:00 ～ 12:00	振り返りと総括	
二日目 2月 18日 (土)	18:30 ～ 20:25	【講演】 「災害が起きたら？ ～地域の中で災害時の避難について 考えよう～」	公立大学法人 北九州市立大学 基盤教育センターひびきの分室 准教授 村江 史年
	～ 20:30	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	38人	27人	52人	—才		2日	4.5日

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回贈)		満足できた	どちらかと言え満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	22件	満足できたか?	16	6	0	0	0
	88.0%		72.7%	27.3%	0%	0%	0%



主な意見	■ 具体的な意見を多く聞けた。
	■ 自分の知らない過去の地域災害の情報を共有できた。今後、町の住宅事情も変わっていくので、引き続き参加したい。
	■ 大変有意義な時間だった。
	■ 皆さんと色々話ができよかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目は、情報伝達訓練、避難訓練など、2回目は、災害の話とグループワークを行った。講師は、両日とも村江先生で連続性のある内容で力を入れて行った。
	■ グループワークは4グループで編成し、活発な意見交換が行われた。
	■ これからの校区の防災について、住民の方、近隣の施設や企業の方の意見も聞くことができ、有意義な研修だった。

■ 研修風景

一 目 避難訓練 非常食について		一 目 振り返りと統括	
二 目 「災害が起きたらどう地域の中で災害時の避難について考えよう」		二 目 グループワーク	

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉北区・南丘校区） 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
南丘校区では、参加者があらためて地域で助け合う事の大切さを学びながら、参加者同士の交流を図り、福祉活動への気持ちを高め、地域で楽しく共に活躍できる活動者を増やす事を目指します。
- 2 実施主体** 南丘校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 南丘市民センター（北九州市小倉北区熊谷一丁目26-15）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方 約40名
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「いつまでも安心して暮らせるまち南丘」
- 7 研修日程・内容**

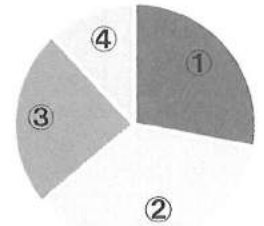
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月 26日 (土)	19:00 ～ 19:05	開 会・オリエンテーション	南丘校区社会福祉協議会 会長 梶 務
	19:05 ～ 20:30	講 話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
二日目 1月 28日 (土)	19:00 ～ 20:25	「今後の南丘校区 ふくしのまちづくり計画」	小倉北区社会福祉協議会
	20:25 ～ 20:30	閉会	南丘校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	51人	41人 —%	80人	—才			2日	3日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言い ない	あまり満足 できなかった	不満だった
	27件 69.2%		7 25.9%	9 33.3%	6 22.2%	3 11.1%	0 0%



主な意見	■ 高齢者の多い、南丘の住民が支え合い、助け合って生活することの重要性をわかりやすく、熱く、説明していただきありがとうございました。
	■ 支え側と受け手側に分かれてはいけないという言葉は、心に響いた。
	■ グループで分かち、様々な意見が聞けたことが良かった。
	■ 高齢者の見守り等が必要になっている。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目は九州大谷短期大学の中村教授による福祉の話、2回目は、校区のふくしについて、みんなで意見交換するためワールドカフェ形式でグループワークを行った。
	■ 話し合いは、6グループに分かれ、時間制限のある話し合いに不慣れな方も多く、「時間が足りない」などの声も聞かれたが、活発な意見交換が行われていた。
	■ 研修が地域でふくしを考えるきっかけとなり非常に有意義だった。

■ 研修風景

開会挨拶		一日目「気づく力を高めよう！地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う地域共生社会を目指して」	
二日目 今後の南丘校区 ふくしのまちづくり計画		二日目 グループワーク後の発表	

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・貫校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
貫校区では、参加者があらためて地域で助け合う事の大切さを学びながら、参加者同士の交流を図り、福祉活動への気持ちを高め、地域で楽しく共に活躍できる活動者を増やす事を目指します。
- 2 実施主体** 貫校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 貫市民センター（北九州市小倉南区西貫 1-11-1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方 約40名
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「気づく力を高めよう！ ～ いつまでも安心して暮らせるまち」

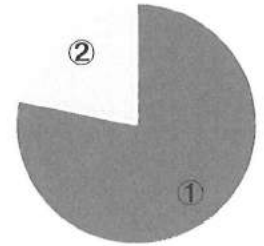
日 程		内 容	講 師 等
一 日 目 5月 21日 (土)	14:00 ～ 14:05	開 会・オリエンテーション	貫校区社会福祉協議会 会長 嶋津 政美
	14:05 ～ 15:55	講 話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
二 日 目 6月 18日 (土)	14:00 ～ 15:55	講 話・グループワーク 「よりよい貫校区にむかって！」 ～みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
三 日 目 7月 23日 (土)	14:00 ～ 15:25	「今後の貫校区 ふくしのまちづくり計画」	小倉南区社会福祉協議会
	15:25 ～ 15:30	閉会	貫校区社会福祉協議会 副会長 松本 敦子

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	42 人	105 人	— 才		3 日	5.5 朝
	— %	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	回数		満足でき	どちらと 言うと 満足でき	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満足だった
	23 件		18	5	—	—	—
	79.3 %		78.3 %	21.7 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 地域ごとの悩みなど、聴けて良かった。どこもそれぞれの事情があることが分かりいろいろな困りごとを把握できた。
	■ いろんな気付きがあり、よい話し合いができた。
	■ 自分の考え、環境の違いに気付かされ、いろいろな立場での意見を聴くことができた。今後、自分が年を取って5年後の環境に思いをはせることができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 中村先生には今回、気づくことの大切さについて講義いただいたが、飾らない経験値から来るお話は説得力があり、わかりやすかった。
	■ 貫校区では今まで、みんなで話し合いをするという場があまり作れなかったこともあり、最終回のグループワークでは活発な意見や悩み、困りごとが飛び出し、全体的に一体感のある有意義な研修となった。

■ 研修風景

開会挨拶		1日目 ①中村先生 「気づく力を高めよう！」	
	2日目 ②中村先生 「4S良い貫校区に向けて」		3日目 1回目 2回目を振り返って

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・葛原校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
葛原校区では、参加者があらためて地域で助け合う事の大切さを学びながら、参加者同士の交流を図り、福祉活動への気持ちを高め、地域で楽しく共に活躍できる活動者を増やす事を目指します。
- 2 実施主体** 葛原校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 葛原市民センター（北九州市小倉南区葛原本町3-4-34）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「気づく力を高めよう！ ～ いつまでも安心して暮らせるまち」
- 7 研修日程・内容**

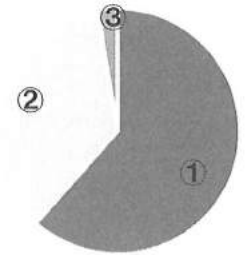
日 程		内 容	講 師 等
一日目 2月 18日 (土)	15:00 ～ 15:05	開 会	葛原校区社会福祉協議会 会長 廣松 謙治
		オリエンテーション	葛原校区社会福祉協議会
	15:05 ～ 16:30	講 話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
二日目 3月 11日 (土)	10:30 ～ 11:55	「今後の葛原校区 ふくしのまちづくり計画」	小倉南区社会福祉協議会
	11:55 ～ 12:00	閉会	葛原校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	51人	51人	91人	—才		2日	3日
	—	—%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	回数		満足できた	どちらかと言え満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	39件 97.5%		24 61.5%	14 35.9%	1 2.6%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢化を知ってはいたが、5年後、10年後の超高齢化について知識がなく、目からウロコといった感じだった。 ■ 支援をする側、受ける側はイコール(=)の理論。 ■ 気付く力を向上させることが大切。 ■ グループワークは初めてだったが、意見交換ができてとてもよかった。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今回は地域共生社会についてわかりやすく説明し、葛原校区における小地域福祉活動計画づくりにモチベーションをあげて住民が参画していくという仕掛けをふくしのまちづくり講座を使って行った。講座の参加者も多く、積極的な意見交換がなされた。校区において計画策定へのスムーズな導入ができたと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		一日目「気づく力を高めよう〜地域が『元気づけ』ながら互いに助け合う、地域共生社会を目指して〜」	
一日目「今後の葛原校区『ふくしのまちづくり計画』」		閉会	

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座（花房地区） 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
花房地区では、災害をテーマとした講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学び、次年度の防災へ向けた取り組みへ繋げること。また活動者との交流の中で、地域活動への関心を高めることを目的に、課題解決や地域で活躍できる人材の獲得を図ります。
- 2 実施主体** 花房地区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 安屋公民館（若松区安屋2238）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 安全・安心なまちづくり花房「安屋編」

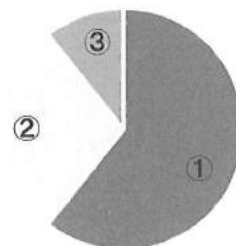
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月 11日 (金)	19:00 ～	開 会	安屋自治会 会 長 是松 博視
		オリエンテーション	若松区社会福祉協議会
	19:05 ～ 20:30	自然災害～花房のここが心配! ～防災・減災の目で 自分のまちを見てみよう～	防災ファシリテーター 株式会社 喜楽学舎 代表取締役 古野 陽一
二日目 12月 9日 (金)	19:00 ～ 20:25	防災をまちづくりで考える	防災ファシリテーター 株式会社 喜楽学舎 代表取締役 古野 陽一
	20:30 ～	閉 会	花房地区社会福祉協議会 会 長 山本 治美

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	44人	44人	80人	—才		2日	3日
		—%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回率)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言え 満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	28件 77.8%		17 60.7%	8 28.6%	3 10.7%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 自分たちが住んでいる地域に色々な災害があるということ。地域のつながりをもっと考えたい。
	■ 自然災害の恐ろしさがよくわかった。
	■ 防災隣組の必要に気づきました。
	■ 早速地域で、動いてほしいと思います。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目は配布されている北九州ガイドブック、防災マップを見ながら、地域の自然災害について確認。2回目は防災でまちづくりについて一緒に考えた。
	■ 災害危険地域に入っている場所もあり、改めて認識し防災意識を高くしていた。
	■ 地域で防災を考えるきっかけになった研修で非常に有意義だった。

■ 研修風景

開会 会長 安屋自治会 景松 博視		一日目 自然災害で花房のことが心配 防災・減災の目で自分のまちを見くまよう	
二日目 防災をまちづくりで考える		閉会 花房地区社協 会長 山本 治美	

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座（八幡東区・槻田第一地区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
 槻田第一地区では、福祉協力員や民生委員・児童委員を対象にみんな de Bousai 事業とも連携して災害時に、避難が必要となった場合に備えて何をすべきかを参加者みんなで考えます。
- 2 実施主体** 槻田第一地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 槻田市民センター（北九州市八幡東区松尾町19-1）
- 4 対 象 者** 福祉協力員（町内会長）、民生委員・児童委員 等
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「災害に強い地域づくりのための 目配り・気配り・思いやり講座」

7 研修日程・内容

日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月 26日 (月)	19:00 ～ 19:05	開 会・オリエンテーション	槻田第一地区社会福祉協議会 会長 林田 祐子
	19:05 ～ 20:00	【講 演】 「災害が起きたら？避難の話 ～地域の中で災害時に連絡をとる方法 を考える～」	北九州市立大学 准教授 村江 史年
二日目 11月 28日 (月)	19:00 ～ 19:50	【事業説明】 「小地域福祉活動計画～みんなが安 心して暮らせる支え合いのまちづく り～」	八幡東区社会福祉協議会 事務所長 近藤 広一
	19:50 ～ 20:00	閉会	槻田第一地区社会福祉協議会 会長 林田 祐子

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	38人	28人	45人	—才		2日	2.5期
	—	—%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	17件		1	14	2	0	0
	100%		5.9%	82.3%	11.8%	0%	0%



②

主な意見	■ ここ3年研修会ができなかったのが、大変勉強になった。早速話し合いで連絡ルートを決め活動を始めたいと思う。
	■ 具体的な事例をあげて話していただき、とても分かりやすかった。地区ごとの課題も見えてきたので良い方向へ向かうようにしたい。
	■ 福祉マップや防災マップなどの「見える化」が重要だと感じた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ感染症のためグループワークはなるべく避けていたが、今回は感染対策に配慮しながら話し合いを行った。みんなで話すことでいろんな意見や課題を発見し、共有することが出来たことは地域の方々にとって大きなプラスとなったのではないと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		一日目「災害が起きたらどう避難の話」 地域の中で災害時に連絡をどう方法を考えてみる」	
一日目「災害が起きたらどう避難の話」 地域の中で災害時に連絡をどう方法を考えてみる」		二日目「災害被災地から学ぶ ふれあいネットワーク活動」	

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡西区・熊西校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校（地）区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
熊西校区では、住民一人ひとりの安全で安心な暮らしを守るために、健康づくりに着目し、いつまでも自分の足で歩けるよう、学び、生活に役立てるとともに、参加者全員でこれからの地域福祉活動の進め方について共有を図ることを目的としています。
- 2 実施主体** 熊西校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 熊西市民センター（八幡西区熊西幸神4丁目3-1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方 定員40名
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「足の健康講座を通じて地域福祉活動への参加を進めよう」
- 7 研修日程・内容**

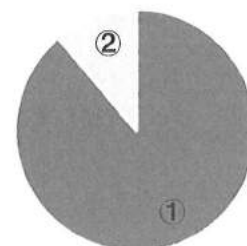
日程		内 容	講 師 等
一日目 1月19日 (木)	13:00 ～ 13:10	開 会	熊西校区社会福祉協議会 会長 中禮 弘幸
	13:10 ～ 15:00	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 熊西校区社会福祉協議会
	13:10 ～ 15:00	いつまでも元気に歩けるよう① オトナのフットケア講座～大切な「足」と向き合ってみませんか?～	足爪 care.百歩 林 朋美
二日目 1月26日 (木)	13:00 ～ 14:00	いつまでも元気に歩けるよう② 足のアンチエイジング（フレイル予防）	足爪 care.百歩 林 朋美
	14:00 ～ 14:10	休 憩	
	14:10 ～ 14:30	私たちの地域活動 ～熊西校区社会福祉協議会の取組みについて～	熊西校区社会福祉協議会 事務局長 新後 百合和
	14:30 ～ 15:00	「熊西に住んで良かった」を実現する取組みについて考えよう	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 熊西校区社会福祉協議会
	15:00	閉 会	熊西校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	26 人	24 人	41 人	— 才			2 日	4 時間
	7・19	92.3 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回線)		満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言いにくい	あまり満足 できなかった	不満だった
	10 件		8	1	0	0	0
	58.8 %		80 %	10 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 地域のつながりはとても大切だと思う。みなで助け合い『共生』できる社会が必要だと思う。
	■ 今回初めて参加しました。これからも機会があったら参加したいと思います。
	■ 自分の足をしっかり見つめ直す機会になった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 熊西校区の活動者の高齢化が心配される中、新しい福祉協力員を取り込む為に試行錯誤する中での校区として初めてのふくまち開催だった。
	■ 参加者から「福祉協力員の活動について他地区の取り組みを聞いてはどうか？」との発言があった。より住み良い地域にする為にそのような企画も必要だと感じた。

■ 研修風景

開会挨拶		一日目 「いつまでも元気に歩けるよっ① オトナのフットケア講座」大切な言葉と向き合ってみませんか？」	
一日目 「いつまでも元気に歩けるよっ②のアンチエイジング」フレイブル予防」		二日目 私たちの地域活動〜熊西校区社会福祉の取り組みについて〜	

— 令和4年度 —

ふくしのまちづくり講座（戸畑区・牧山東地区）実施要領

「地域は家族だ！牧山東 ～家族のきずなを深めよう～」

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。
 牧山東地区では、講座を通して、住民一人ひとりの安全で安心な暮らしを守るために、住民同士の交流をはかり、参加者全員でこれからの地域福祉活動の進め方について共有を図ることを目的としています。
- 2 実施主体** 牧山東地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 牧山東市民センター（戸畑区新川町3番25号）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 研修日程・内容**

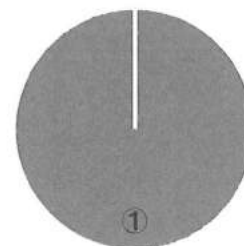
日 程		内 容	講 師 等
一日目 7月 21日 (木)	19:00 ～ 19:10	開 会	牧山東地区社会福祉協議会 会長 篠原 伸憲
		オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 (戸畑区社会福祉協議会)
	19:10 ～ 20:25	他地区の地域生活支援活動推進事業について聞いてみよう 「高須地区 たかすちょこっと応援タイ」	高須地区社会福祉協議会 会長 香月英彦 生活支援相談員
二日目 8月 18日 (木)	19:00 ～ 20:30	児童、高齢、障害と種別を問わない「地域福祉」について	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 勅使河原 航
三日目 9月 16日 (金)	13:00 ～ 14:25	地域みんなで元気になろう♪ 身体を支える基本について 「スーパーボールを使って足裏ストレッチ」	フットセラピスト ゲンキクリエイター ケイコ 藤崎 恵子
	14:25 ～ 14:30	閉 会	牧山東地区社会福祉協議会 会長 篠原 伸憲

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	59 人	27 人	68 人	— 才			3 日	4.5 時間
	24・25	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足でき た	どちらか 言うと 満足でき た	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	7 件		7	0	0	0	0
	46.7 %		100 %	0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見

- 事業活動を進めていく中での具体的な問題を聞くことが出来て良かった。社会問題も垣間見えて考えさせられた。
- 地域活動に気軽に参加できたらいいなと思った。
- 地域福祉をわかりやすくお話し下さり、つながる事の大切さを感じました。
- 大学や大学生が地域活動をやってくれていると知る事ができて嬉しかったです。

■ 事業点検

点検・講評
(今後の取り組み)

- 1回目は他校(地)区の取り組みを聞き、2回目は大学講師の講義と学生との交流、3回目は身体を動かす実技と、色々なバリエーションで講座を行い好評だった。
- 他地区の取り組みを知ることで、自分の住む地域を知るきっかけになったと思う。
- 受講したことを各々が自分の住む地域で活用し、役立てて頂けると感じた。

■ 研修風景

開会挨拶 篠原会長		一 日 目 他地区の地域生活支援活動 推進事業について聞いてみよう	
二 日 目 児童、高齢、障害と種別を 問わない「地域福祉」について		三 日 目 地域みんなで元気になろう 身体を支える基本について	

— 令和4年度 —

市民講演会 実施要領

「孤独・孤立防止への取り組み ～赤ちゃんとお母さんの相談窓口からの学び～」

- 1 目的** 人と人との関係性や「つながり」の希薄化が言われる中、新型コロナウイルスの感染症も影響し、孤独・孤立の問題は一層深刻な社会問題の一つとなっています。
孤独・孤立の問題を抱える当事者の支援には、行政の支援とともに市民をはじめとしてNPO、社会福祉法人等の多様な主体が幅広く参画し、人とのつながりを実感できる地域づくりと取り組みが重要です。
本講演会では、日本で初めて、産んでも育てられない母親が赤ちゃんを託すことができる「こうのとりのゆりかご」と「赤ちゃんとお母さんの相談窓口」の開設に携わられた田尻 由貴子氏を講師にお招きします。
孤立し、SOSを発信しづらいお母さん・赤ちゃんの支援や、大切な命をつなぐ活動から、孤独・孤立の問題の理解と支援、また、社会全体での取り組みへの参画の契機を目的として開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 2階 多目的ホール（北九州市戸畑区汐井町1番6号）
- 4 対象者** ボランティア・市民活動に関心のある方、活動中の方など【定員90名】
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和4年 11月26日（土）14:00～16:30
詳細裏面参照

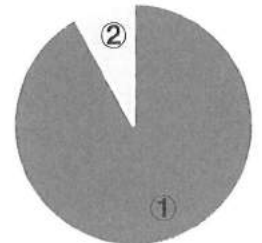
時 間	内 容
13 : 30～	受 付
14 : 00～14 : 05	開 会・オリエンテーション 北九州市社会福祉ボランティア大学校
14 : 05～14 : 35	基調講演 「北九州市における切れ目ない子育て支援の 取り組み」 北九州市 子ども家庭局 子育て支援課 母子保健担当課長 中原 尚子
14 : 35～15 : 35	講演 「命をはぐくむ 家族のきずな 地域のきずな ～妊娠SOS相談からの学び～」 講師 一般社団法人 スタディライフ熊本 名誉顧問 田尻 由貴子
15 : 35～15 : 45	休憩
15 : 45～16 : 15	対談 「子どもたちが未来にいのちをつなぎ、温かく包 まれる社会を目指して ～いのちのバトンをつ ないでいきたい～」 講師 一般社団法人 スタディライフ熊本 名誉顧問 田尻 由貴子 聴き手 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校 長 久塚 純一
～16 : 30	閉 会 北九州市社会福祉ボランティア大学校

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	54人	45人	45人	—才		1日	2.5時間
	—	—					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義	どちらか 言うと 有意義	どちらとも 言えない	あまり参考 にならない	全く参考 にならない
	37 件 82.2%		34 91.9%	3 8.1%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市の新規事業やアプリなど分かりやすく説明していただいた。 子どもとお母さんを守るための公的な支援の手厚さに感心しました。一方でその公的な支援を受けていない親子をどう守るかが難しいのだろうと思った。 子どもたちを社会で育む大切さを感じました。また、いのちの大切さを子どもに伝えることで自尊感情を高めることができる。
------	---

■ 事業点検

点検・講評	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達段階に応じた早期からの性教育といのちの授業を学校教育で充実させる必要性を感じた。いじめや自殺防止にもつながると思う。
(今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> 相談体制整備をはじめとして、「ゆりかごのいらない社会づくり」が求められている。

■ 研修風景

開会		基調講演 「北九州市における初め自らい子育て支援の取り組みについて」	
講演 「命をほぐす 家族のきまな 地域のきまな〜妊娠の〇〇相談かたの壁〜」		対談 「子どもたちが未来にいのちをきつなを、温かく抱きかかってくれる社会を目指していのちのハートをつなごう」	

— 令和4年度 第1回 —

福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円
上記以外の者 …………… 7,000円
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和4年4月1日(金)～5月10日(火)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課
北九州市社会福祉ボランティア大学校（担当：田中、松田）
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

①【福祉車両】

(1) 日程・会場 令和4年6月4日(土) 9:15~18:25
クレカ若松 [ボートレース若松内] (若松区赤岩町13-1)

(2) 受講対象者 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

(3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場	
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第1 研修室	
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一		
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応			
11:10~12:00		運転方法			ヘルパーステーション ほほえみ (永田 淳)
12:00~12:50	休憩				
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一		
13:45~14:45		介護技術			
14:50~15:50		基礎的な接遇技術			
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ (派遣講師)		グラウン ド
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)			
18:20~18:25	閉会	まとめ		第1 研修室	

②【セダン型】

(1) 日程・会場 令和4年6月11日(土) 9:15~11:45
ウエルとばた12H・I研修室 (戸畑区汐井町1-6)
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

(2) 受講対象者 ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているが、ヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方。

(3) 研修内容

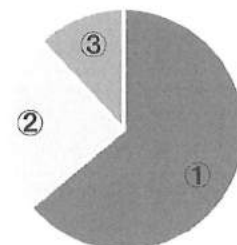
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	29 人	27 人	27 人	45.9 才		1 日	9 時間
	14・15	93.1 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回率)		満足できた	どちらかという満足できた	どちらともいえない	あまり満足できなかった	満足できなかった
	27 件	満足 できたか?	16	6	3	0	0
	100.0 %		59.3 %	22.2 %	11.1 %	0 %	0 %



主な意見	■ 実際に従事するために必要な事、気を付けるべき事を学べて有意義だった。
	■ 障害者の立場に立ってのボランティアの大切さを学びました。
	■ 福祉車両の特性がよく分かり、実際に乗ったことで利用者さんの気持ちを知ることができて良かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ対策の為、手指消毒、マスクと手袋を着用し、感染対策に心がけて取り組んだ。
	■ 丁寧な説明と実際に福祉用具を使つての体験、サポートの方法や先生からのアドバイスも聞けて有意義だった。この経験をボランティアに活かして頂きたい。
	■ 駐車場の誘導や、受付などは混乱もなくスムーズにできた。

■ 研修風景

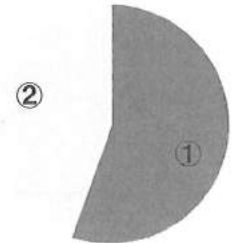
関係法令等 貞包 健一 氏		運転方法の講義 永田 淳 氏	
障害の知識及び利用者理解		福祉自動車運転方法 (演習)	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	8人	7人	7人	45.4才		1日	3時間
	2・5	87.5%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回数)		満足できた	どちらかという満足できた	どちらともいえない	あまり満足できなかった	不満だった
	7件 100.0%		5 71.4%	1 14.3%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 様々な工夫や視点を学びました。勉強になりました。
	■ 机上の研修しかしていなかったのととても勉強になりました。
	■ 実際に役に立つ内容だなと思った。
	■ 利用者に合わせた対応が大切と学びました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ シルバーひまわりの登録者2名と市内の福祉有償の団体5名が受講した。
	■ 車いすの使い方等実際のボランティアに役立つ内容だった。
	■ 車の構造を理解した上で、利用者を乗せる際にどんな配慮が必要か、受講者が考えさせられる講義だった。

■ 研修風景

利用者理解及び乗降介助等の対応①		実技	
利用者理解及び乗降介助等の対応②		修了証書授与式	

— 令和4年度 第2回 —

福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30人
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円
上記以外の者 …… 7,000円
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和4年9月1日(木)～9月28日(水)までに、郵送またはFAXにてお申込ください。
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課
北九州市社会福祉ボランティア大学校（担当：田中、松田）
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3F
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

①【福祉車両】

(1) 日程・会場 令和4年10月22日(土) 9:15~18:25
クレカ若松 [ボートレース若松内] (若松区赤岩町13-1)

(2) 受講対象者 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

(3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第1 研修室
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ (永田 淳)	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接遇技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ (派遣講師)	グラウン ド
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		第1 研修室

②【セダン型】

(1) 日程・会場 令和4年10月29日(土) 9:15~11:45
ウエルとばた12H・I研修室 (戸畑区汐井町1-6)
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

(2) 受講対象者 ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているが、ヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方。

(3) 研修内容

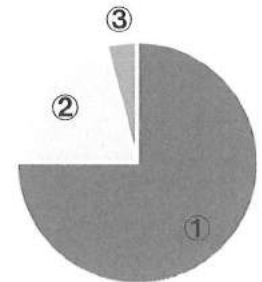
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	28 人	27 人	27 人	49.5 才			1 日	10 時間
	8・20	96.4%						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回率)		満足できた	どちらかという満足できた	どちらともいえない	あまり満足できなかった	不満だった
	26 件	満足 できたか?	18	5	1	0	0
	96.3%		69.2%	19.2%	3.8%	0%	0%



主な意見	■ 福祉有償運送が何を目的としているかを正しく知ることができた。
	■ 利用者宅に行った時の乗降介助や車の止め方など、とてもわかりやすかった。
	■ 実際に、視覚障害者の立場になり体験する事ができ、相手が何を求めているかが少し理解できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回から実技会場が遠くなったが、混乱なくスムーズに移動できた。
	■ 実技等積極的に参加し、講師への質問もあり、意識の高い受講者が多かった。
	■ 実際に車イスに乗って福祉車両に同乗したり、運転をしてみるなどの実技を体験することで、利用者に対する気遣いを学び、今後の活動に活かせると感じた。

■ 研修風景

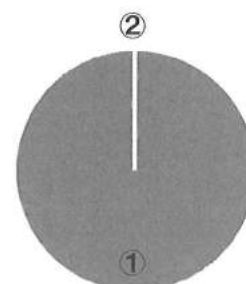
関係法令等 貞包健一氏		障害の知識及び利用者理解	
福祉自動車運転方法(演習)		グループワーク	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	5人 4・1	5人 100%	5人	62才		1日	3時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回)		満足できた	どちらかという満足できた	どちらともいえない	あまり満足できなかった	満足できなかった
	5件 100.0%		5 100%	0 %	0 %	0 %	0 %

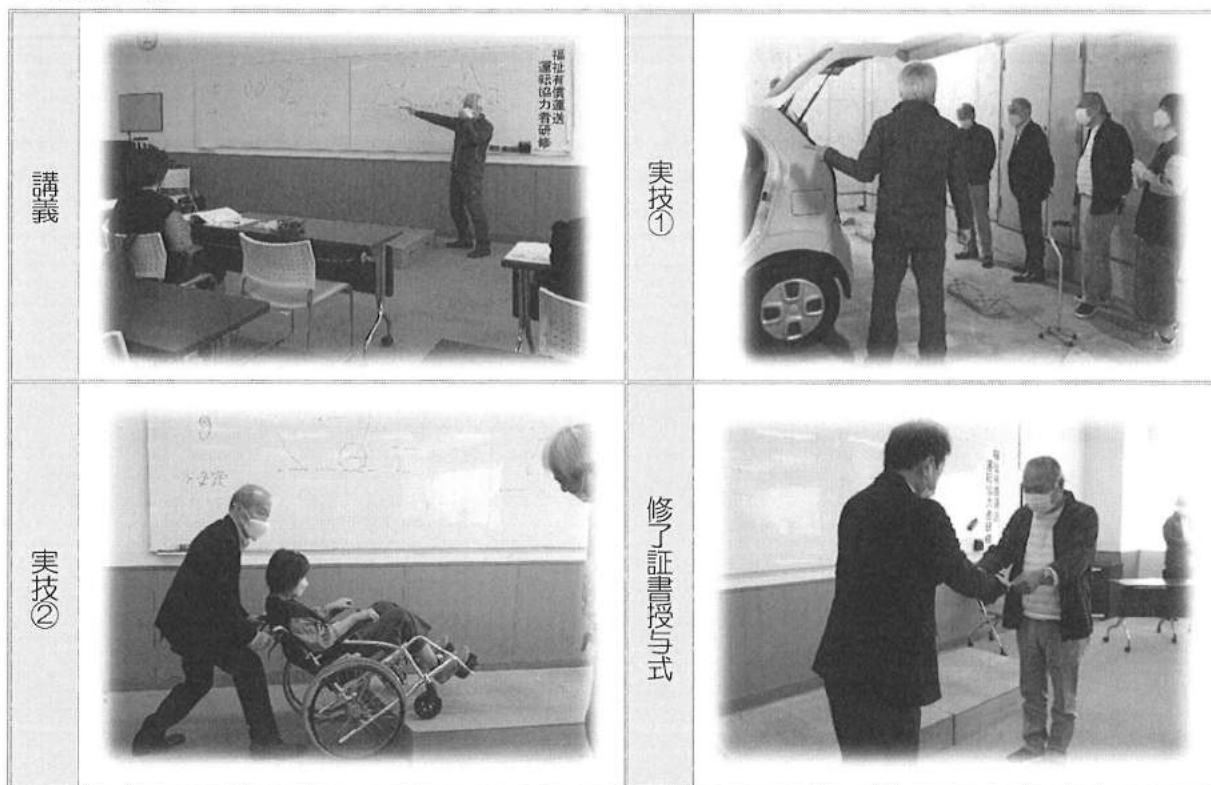


主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実技を交えての講義がわかりやすかった。 ■ 車と車椅子を使って、深い理解ができた。 ■ 福祉の視点をこの研修で身に付けたと思います。研修を整理して、実践を通して内容を充実させたいと思います。
------	---

■ 事業点検

点検・講評	<ul style="list-style-type: none"> ■ シルバーひまわりの登録者4名と福祉有償の団体1名が受講した。 ■ 受講者が少ない分、実技に関わられて良かったと思う。 ■ 高齢者・障害者の視点で車両の乗降介助や車椅子の使い方を学び、これからのボランティアに役立てて頂けると感じました。
(今後の取り組み)	

■ 研修風景



— 令和4年度 第3回 —

福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 4 定員** 30 人
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先します。
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 ……………… 7,000 円
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和 5 年 1 月 13 日(金)～2 月 10 日(金)までに、郵送または FAX にてお申込ください。
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課
北九州市社会福祉ボランティア大学校（担当：田中、松田）
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 3F
TEL : 093-881-6321 FAX : 093-881-6306

①【福祉車両】

- (1) **日程・会場** 令和5年2月25日(土) 9:15~18:25
クレカ若松 [ポートルース若松内] (若松区赤岩町13-1)
- (2) **受講対象者** 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

(3) 研修内容

時間	内容		講師	研修会場	
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		市 民 ホ ー ル	
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一		
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応			
11:10~12:00		運転方法			ヘルパーステーション ほほえみ (永田 淳)
12:00~12:50	休 憩				
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一		
13:45~14:45		介護技術			
14:50~15:50		基礎的な接遇技術			
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ (派遣講師)		第 5 駐 車 場
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)			
18:20~18:25	閉会	ま と め		市 民 ホ ー ル	

②【セダン型】

- (1) **日程・会場** 令和5年3月4日(土) 9:15~11:45
ウエルとばた12H・I研修室 (戸畑区汐井町1-6)
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) **受講対象者** ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているが、ヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方

(3) 研修内容

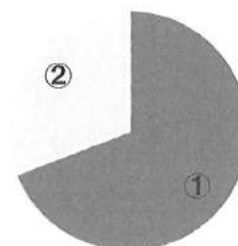
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研 修 室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	ま と め		12H・I 研 修 室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	13 人	13 人	13 人	59.5 才		1 日	9 時間
	9・4	100%					

■ アンケート結果

回答 (回数)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
		満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満足だった
13 件		9	4	0	0	0
100.0%		69.2%	30.8%	0%	0%	0%



主な意見	■ 今一度安全運転を心がける気持ちとなりました。
	■ 障害者それぞれの立場に立った介助方法が良く理解できました。
	■ 車イスに乗っての移動は初めてでした。送迎で車イス利用者があれば通常の運転操作より慎重な対応が必要だと認識しました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 皆さん細かくメモを取り、講義後は講師のところに質問に行くなど熱心に受講されていた。
	■ 降雨で寒い中での実技講習となったが、混乱なくスムーズに終わった。
	■ 受講者が少なかった分実技等で細かく指導が行き届き、受講者にとって密度の高い研修になったと思う。

■ 研修風景

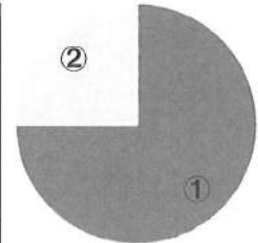
関係法令等 貞包 健一 氏		障害の知識及び利用者理解	
福祉自動車運転方法(演習)		修了証書授与	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	8 人	8 人	8 人	62.6 才		1 日	2.5 曜
	7・1	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回率)		満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	8 件 100.0%		6 75%	2 25%	0 -	0 -	0 -

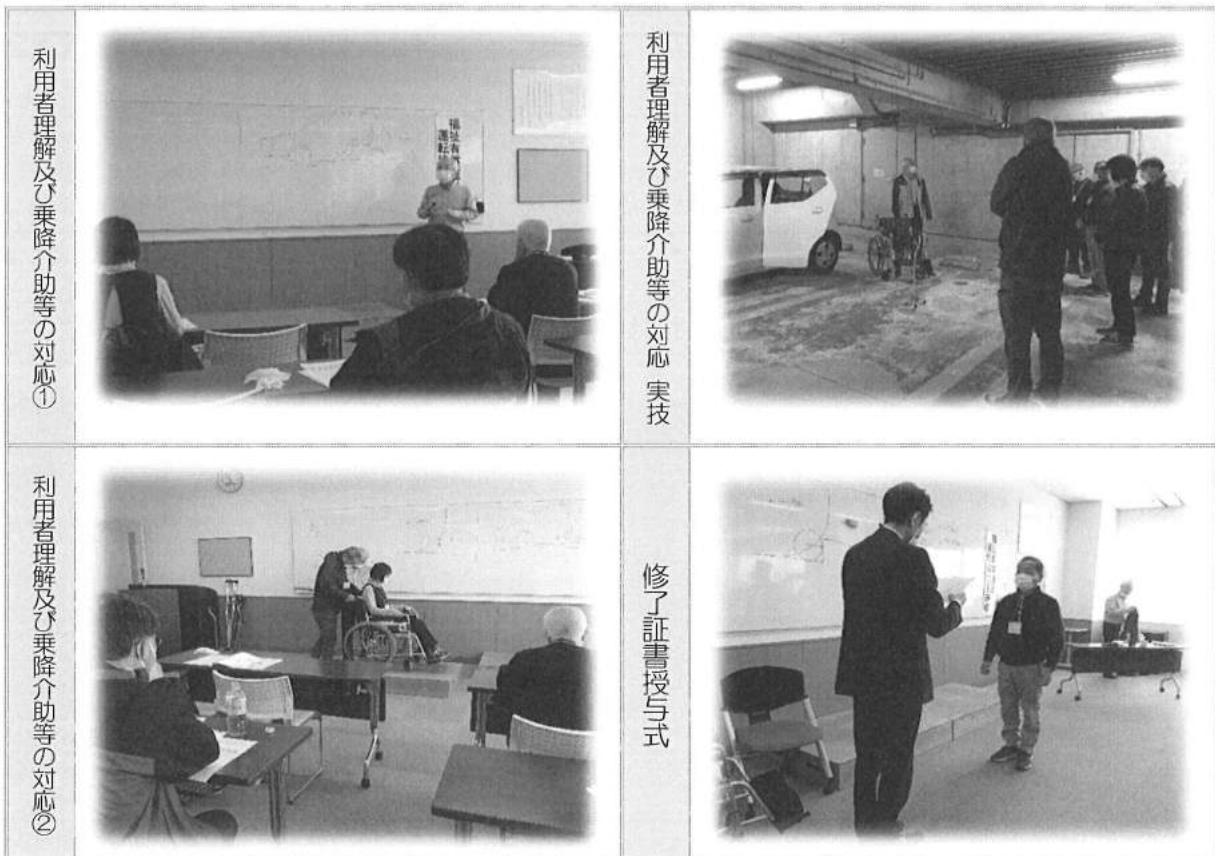


主な意見	■ 普通車と体の不自由な方の車輛の構造の違いを学べ、乗降の際の注意点を確認する事ができて良かったです。
	■ 普段何気なく乗り降りしているクルマが利用者にとって使いやすい様に多々考えなければならぬ事に気付きました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ シルバーひまわりの登録者7名と市内の福祉有償の団体1名が受講した。
	■ 講義中、講師からの問いかけに積極的に発言する受講者が多かった。
	■ 「ボランティアを増やして活動を活発にするべきだ」との意見が受講者からシルバーひまわりサービス事務局に向けてあり、その熱い思いを活動推進課につないだ。

■ 研修風景



— 令和4年度 —

聴覚に障害のある人へのボランティア 入門講座 実施要領

- 1 目的** 障害のある方の困り事に気づき、思いやりの心を声かけや行動にしてみたい。ボランティアで困り事を少しでも解消できるの？
本講座では、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指して、障害のある方の心に寄り添い、支援について学ぶとともに、ボランティア活動に関心のある方には活動の窓口へつなげます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 障害のある方へのボランティア活動に関心がある方（定員 30 名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 令和4年9月10日（土）

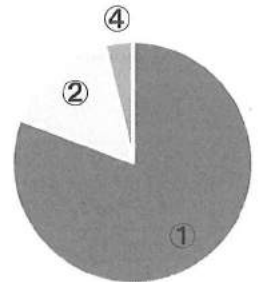
日時	内容	講師等
9:30～	受付	
10:00～	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:05～ 10:50	聴覚に障害のある人の体験談 ～聴覚障害への理解を深める～	しゅわ 手話べり 主宰 あき た まこと 穂田 誠
10:50～ 11:00	休憩	
11:00～ 11:30	実践練習 簡単な手話で話そう！	しゅわ 手話べり 主宰 あき た まこと 穂田 誠 北九州市立東部障害者福祉会館
11:30～ 11:50	ボランティアグループ等の紹介 ～開催予定講座と活動の紹介～	北九州市立東部障害者福祉会館
～12:00	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	31 人	27 人	27 人	63.6 才			1 日	2 日
	10・21	87.1 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	26 件 96.3 %		満足 できたか?	21 80.8 %	4 15.4 %	0 0 %	1 3.8 %

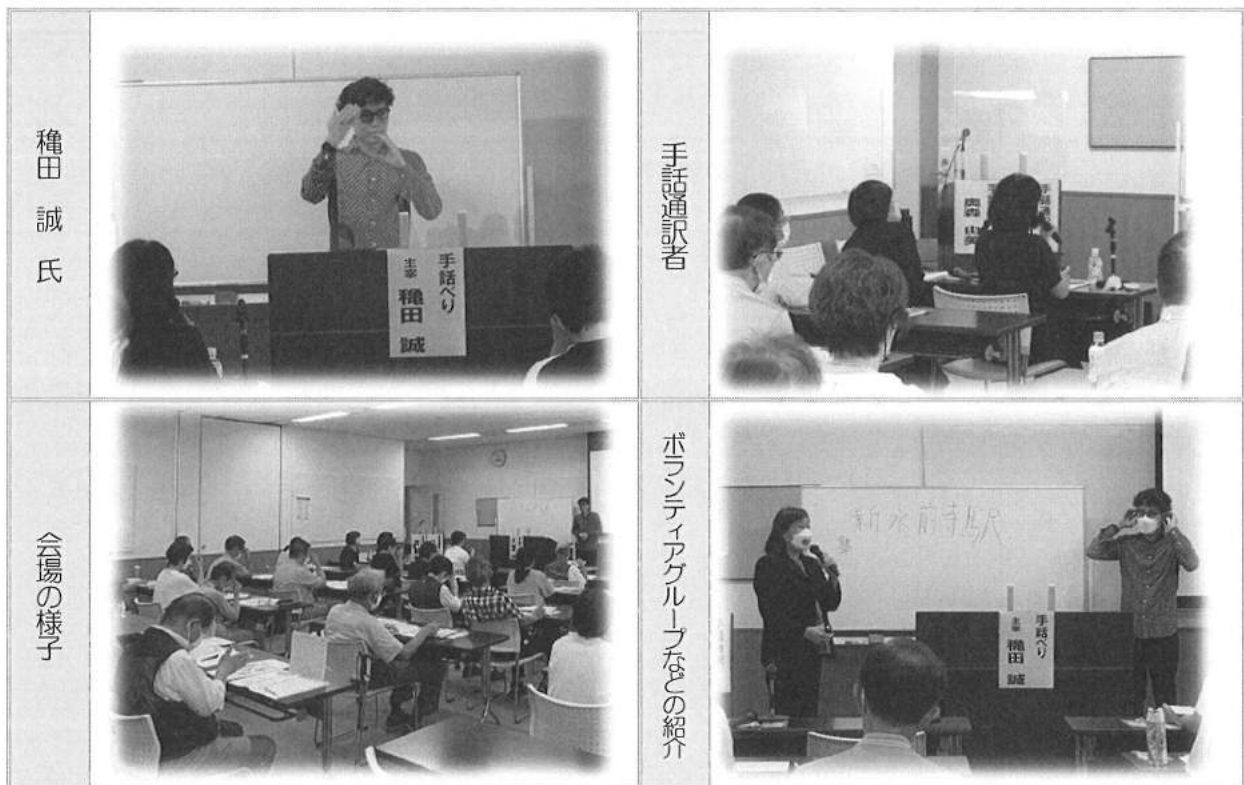


主な意見	■ 耳が聞こえる人と聞こえない人との交流の困難を災害で実感し、手話を広めようと思ったことに強く共感しました。
	■ 聴覚障害者の方の生の声が聞けて、知らない世界を知ることが出来てよかった。
	■ 私も簡単な手話から覚えてみたいと思った。
	■ 職場で聾者や難聴者の方と接することがあるので、手話を勉強して交流したいです。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今年は聴覚障害をテーマとし、聴覚障害のある人の体験談を聞き、簡単な手話講座の後、入会できるボランティアグループの紹介と手話奉仕員養成講座等の案内を行った。
	■ 参加者は年代も幅広く、母娘で受講する方、手話を勉強中の方など様々だった。
	■ 講師は日々の生活や困り事を手話で話し、手話通訳者が音声で同時通訳を行った。
	■ 受講後、来年の手話奉仕員養成講座を受け勉強したいという声が多くあがった。

■ 研修風景



— 令和4年度 —

「プチ（小さな）ボランティア」養成講座 実施要領

- 1 目的** 高齢者や障害のある方が自分で対応するのが難しい小さな困りごと、例えば家具の移動や電球交換、簡単な家屋内での修理などのボランティア活動について活動紹介を交えて学びます。
みんなが自分にできることをできる範囲で行うことで、誰もがいつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう「お互い様」の地域づくりと新たな協力者の参加促進を目指して、ボランティアを養成していきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** 北九州市立男女共同参画センター ムーブ 5階
小セミナールーム（小倉北区大手町11-4）
※駐車場に限りがあるため、近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関でお越しください
- 4 対象者** 受講後のボランティア活動に意欲的な方（定員30名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無 料
- 6 日程・内容** 令和5年3月4日（土）

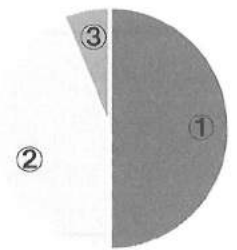
日時	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課
13:40～ 14:00	私たちと一緒にボランティア活動をしてみませんか？ ～腕自慢ボランティア活動について～	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
14:00～ 14:50	・先輩ボランティアからの活動紹介 ～障子・網戸の張替え等簡単な家屋内修理や家具の移動、枝木の剪定、古紙しばりなどに役立つロープの結び方等とその体験談～	腕自慢ボランティアの先輩 吉村 静夫 氏 水上 裕正 氏
14:50～ 15:00	休憩	
15:00～ 15:10	活動参加や登録について	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
～15:20	閉講	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	19人	17人	17人	—才			1日	2朝
	16・3	89.5%						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回)		満足できた	どちらかと言え満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	16件 94.1%		8 50.0%	7 43.8%	1 6.2%	0 0%	0 0%



意見

- 活動されている方が生き生きとしておられる心のが印象的だった。ボランティア活動が心を豊かにしてくれているのだと思った。この研修に参加できてよかった。
- 今回のような参加型のセミナーに加え、出張セミナーもしたらいいと思う。(企業、大大学・商工会等) シルバーだけでなく、より多くの市民が、この活動を知り、ボランティア活動に興味を持つようになったらいいと思う。

■ 事業点検

点検・講評
(今後の取り組み)

■ 講座の広報を市政だよりだけでなく、全市の送迎ボランティアLINEや全市の災害ボランティア登録者宛のメールに掲載したところ、活動意欲の高い方17名が参加され、熱心に受講された。受講後の腕自慢ボランティア登録は12名あり、平均年齢54.7歳と若い活動の担い手を活動推進課へつなぐことができた。

■ 研修風景

開云

「私たちと一緒に」ボランティア活動をして
みませんか？腕自慢ボランティア活動に
ついて」

「活動参加や登録について」

・先輩ボランティアからの活動紹介「障子・網戸の張替え等簡単な家屋内修繕や家具の移動、枝木の剪定、古紙の缶に立つフクロフクロの結び方等」その体験談」

— 令和4年度 —

「プチ（小さな）ボランティア」養成講座 実施要領

- 1 目的** 高齢者や障害のある方が自分で対応するのが難しい小さな困りごと、例えば家具の移動や電球交換、簡単な家屋内での修理などのボランティア活動について活動紹介を交えて学びます。
みんなが自分にできることをできる範囲で行うことで、誰もが、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう「お互い様」の地域づくりと、新たな協力者の参加促進を目指して、ボランティアを養成していきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** コムシティ 7階 子どもホール
(八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ7階)
- 4 対象者** 受講後のボランティア活動に意欲的な方 (定員30名)
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無 料
- 6 日程・内容** 令和4年11月19日 (土)

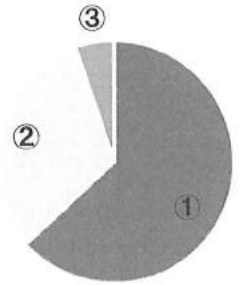
日時	内 容	講師等
10:00 ～	受 付	
10:30～	開 講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課
10:40～ 11:00	私たちと一緒にボランティア活動をしてみませんか？ ～腕自慢ボランティア活動について～	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
11:00～ 11:50	・先輩ボランティアからの活動紹介 ～網戸の張替え等簡単な家屋内修理 や家具の移動等と体験談～	腕自慢ボランティアの先輩方 日本製鉄八幡ハートフルスチ ールの会 黒川 政彦 氏 九州製鉄所 (八幡) 係長会 黒岩 孝章 氏
11:50～ 12:00	休憩	
12:00～ 12:10	活動参加や登録について	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
～12:20	閉 講	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 (八幡西区社会福祉協議会)

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	27 人	23 人	23 人	— 才			1 日	2 週
18・5	85.2 %							

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回数)		満足できた	どちらとも言えず満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	19 件		12	6	1	0	0
100.0 %		63.1 %	31.6 %	5.3 %	0 %	0 %	



主な意見	■ 実際に活動している方の生の声が聞けたのでボランティアのイメージがわかりやすく分かりやすかった。質疑応答に対しても真摯に答えていてよかった。
	■ 腕自慢おまかせサービスの活動内容紹介は、具体例を説明していただき分かりやすかった。
	■ 企業としても取り組んでいることを知りました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 昨年、講座名を「腕自慢ボランティア養成講座」として募集したところ、市政だより区版の一般申込者は、門司・八幡東区共に各3名だったが、今回、講座名を「プチ（小さな）ボランティア養成講座」と柔らかいイメージのタイトルに変更したことで、申込が10名に増えた。企業からの申込は13名で、ボランティア登録は7名あった。
--------------------	---

■ 研修風景

開会		「私たちが一緒にボランティア活動をしてみませんか？腕自慢ボランティア活動について」	
「先輩ボランティアからの活動紹介（総戸の張替え等簡単な家屋内修理や家具の移動等）体験談」		「活動参加や登録について」	

— 令和4年度 —

「災害ボランティア」養成講座(八幡東区) 実施要領

- 1 目的** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。
本講座では、災害時の基礎知識や適切な対処活動に活かすことを目的とし、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えについて学び、地域で協力し支え合うことについて考えます。
また、講座中では、さまざまな災害ボランティア活動もご紹介します。そして、その中から自分にあった活動を見つけてもらい、いざという時の活躍の準備をお手伝いします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** レインボープラザ7階71会議室(八幡東区中央町2丁目1-1)
- 4 対象者** 災害ボランティアに興味のある市民の方、校(地)区社協において災害時福祉救援体制づくりに取り組む新任役員等及び災害時相互協力協定締結団体の新会員の皆さま等々【定員90名】
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和4年7月12日(火)

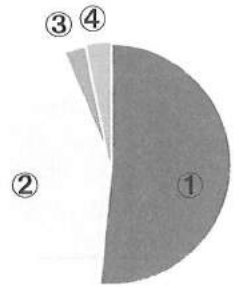
時間	内容	講師等
12:30~	受付	
13:00~	開会	八幡東区社会福祉協議会 事務所長 近藤 広一
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:05~ 13:35	知って安心、災害への備え (八幡東区版)	八幡東区役所 総務企画課 地域防災担当 係長 久松 隼人
13:35~ 14:35	災害時に求められる役割と心構え	公立大学法人 北九州市立大学 基盤教育センターひびきの分室 准教授 村江 史年
~14:45	休憩	
14:45~ 15:25	広島の高雨災害を経験して (ZOOM 講義)	広島市社会福祉協議会 ボランティア情報センター 所長 服部 博信
15:25~ 15:45	災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
~15:50	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	35 人	36 人	36 人	71.1 才			1 日	3 時間
	19・16	102.9 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらか いと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言う と その通り	全く その通り
	33 件		16	13	1	1	0
	91.7 %		48.5 %	39.4 %	3.0 %	3.0 %	0 %



主な意見	■ 今年町内会長になり、災害に関しては勉強になった。
	■ やはり、身近な情報が一番だった。
	■ とても分かりやすい講座だった。ありがとうございました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 八幡東区の民児協、町内会長など地区のリーダー的存在の方の参加が多かった。
	■ 会場は、Wi-Fi 環境があり、YouTube の動画を見ることもできた。
	■ Zoom で広島市社会福祉協議会の方から、H26 年豪雨災害の状況、経験などを話してもらった。現場の声は臨場感があった。
	■ 問題点は、講師パソコンと研修パソコンをつなぎ変えた所パソコンが立ち上がらなくなり Zoom の開始が遅れ、最後の活動推進課の講義が時間短縮になった。
	■ 全体的には、災害ボランティアの活動について、基礎的な話、実際に災害が起きた時の行動、地域の役割など、分かりやすい研修だった

■ 研修風景

地域防災担当係長 久松 隼人		北九州市立大学准教授 村江 史年	
広島市社会福祉協議会 Zoom 講義		活動推進課 課長 茅切 敦美	

— 令和4年度 —

「災害ボランティア」養成講座(戸畑区) 実施要領

- 1 目 的** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。
本講座では、過去の災害を振り返り、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えなど、災害時の基礎知識を学ぶとともに、さまざまな災害ボランティア活動を紹介しながら、地域の中で協力し、支え合う活動につなげることを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 戸畑区役所 3階 大会議室 (戸畑区千防1-1-1)
- 4 対 象 者** 校(地)区社協において災害時福祉救援体制づくりに取り組む役員、戸畑区ボランティア連絡協議会の方及び、災害ボランティアに興味のある市民の方等【定員30名】
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和4年9月14日(水)

時間	内 容	講師等
12:30~	受付	
13:00~	開 会	戸畑区社会福祉協議会 事務所長 橋本 浩司
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:05~ 13:45	知って安心、災害への備え (戸畑区版)	戸畑区役所 総務企画課 地域防災担当 係長 吉永 剛志
13:45~ 14:05	災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
~14:15	休 憩	
14:15~ 15:25	災害時に求められる役割と心構え	公立大学法人 北九州市立大学 基盤教育センターひびきの分室 准教授 村江 史年
~15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	27 人	27 人	27 人	64 才			1 日	3 週
	13・14	100 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらか いと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言え ずでもない	全く その通り
	26 件	満足 できたか?	15	10	1	0	0
	96.3 %		57.7 %	38.5 %	3.8 %	0 %	0 %

③

②



①

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家にあるハザードマップ、防災ガイドブックを改めて見直そうと思いました。防災グッズも以前そろえたままなので、そろえ直そうと思いました。身近に感じられて本当に勉強になりました。 ■ 災害時の支援について、色々と配慮もしなければいけない等、改めて理解できました。 ■ 被害場所は、目がいきがちであるが、それより人を見ること。心に焼きつけました。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 戸畑区の福祉協力員、民生委員、送迎ボランティア登録者、災害ボランティア登録者等、地域の中心となっている方々が幅広く受講された。 ■ 戸畑区の地図を見ながら、危険個所の説明や、スマートフォンを利用したの情報収集、など地域に密接した話だった。 ■ 防災食、備蓄品の紹介もあり、実際に手に取ることができた。 ■ 研修内容は、戸畑区、北九州市の現状、社協の役割、災害ボランティアの活動や地域の役割など、とても分かりやすい研修だった。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶 橋本事務所長		地域防災担当係長 吉永 剛志	
活動推進課 課長 茅切 敦美		准教授 北九州市立大学 村江 史年	

— 令和4年度 —

送迎ボランティア・フォローアップ研修 実施要領

- 1 趣 旨** 福祉有償運送事業等において活躍している送迎ボランティアを対象に、今後も安全で利用者が安心できる送迎活動を継続できるよう、活動者のスキルアップを目指します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 城野自動車学校（小倉北区霧ヶ丘1丁目15-1）
- 4 対 象 者** 送迎ボランティア活動者 30名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受 講 料** 700円（研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日時・内容** 令和4年7月9日（土）

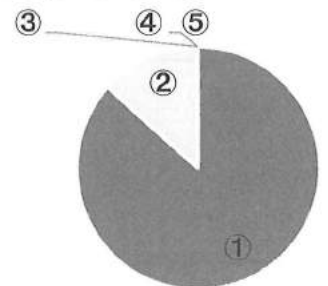
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00 ～13:10	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:10 ～14:55	【講義・実技】 「より安心・安全運転のために」 ～運転行動の変化について～ 【実 技】 「運転チェック及びアドバイス」 ～福祉車両用コース～	城 野 自 動 車 学 校
14:55 ～15:10	【全 体 講 評】	
15:10 ～15:20	休 憩	
15:20 ～16:20	【講 義】 利用者の特性を学ぶ	作業療法士 熊添 潤一
16:20 ～16:30	【講 義】 安全な運行のために	ボランティア・市民活動センター 活動推進課
～16:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	18人 11・7	16人 88.9%	16人	64.3才		1日	3.5時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回率)	研修全体 について	① 満足できた	② どちらか いと 満足できた	③ どちらとも 言えない	④ あまり満足 できなかった	⑤ 不満だった
	15件 93.8%	満足 できたか?	13 86.7%	2 13.3%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ いつも使用している車両での実技で、非常に参考になった。 ■ ボランティアをはじめて、お客様を車にのせて運転するとき、自分の運転が自己流になっていないか不安だったので、実技を受け先生から直接指導していただき、ありがたかったです。注意すべき点を教えてもらったので、今後、特に気をつけて無事故で行きたいです。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 受講生の駐車場の確保が半分しかできずに、近くの霧丘小学校に停めさせてもらった ■ 実技は、社協の送迎車両（普通及び軽自動車）の2台を持ち込んだ。乗降介助の仕方など、普段使用している両車両で行ったため分かりやすいとの声があった。 ■ 講義と実技（運転チェック）を交え、知識と技術を確認しながら、研修を行った。 ■ 今後の活動に繋がる有意義な研修だった。
--------------------	--

■ 研修風景

講義 (城野自動車学校)		実技 (城野自動車学校)	
利用者の特性を学ぶ		安全な運行のために	

令和4年度 ボランティアリーダー研修 実施要領

ボランティアグループ運営研修

～ グループ継続のために知って役立つ運営術～

- 1 趣 旨** ボランティアグループ運営に必要な知識やテクニックを身につけ、グループ活動を長く継続させることを学ぶ研修です。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** ボランティアグループで活動されている方【定員 30 名】
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日時・内容** 令和4年10月20日（木）13:30～16:00

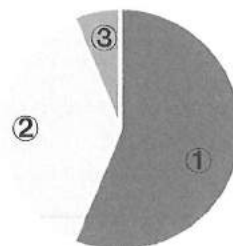
時間	内 容	講師等
13:00 ～	受 付	
13:30 ～	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35 ～ 14:05	ボランティア活動の基本	ボランティア・市民活動センター 活動推進課
14:05 ～ 15:55	① NPO・市民活動団体の助成金獲得 や運営のいろはを学ぼう ② よく聞くクラウドファンディングっ てどんな方法で行うの？	特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター 代 表 古 賀 桃 子
～ 16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	17 人	16 人	16 人	52.4 才		延 1 日	延 2.5 時間
	8・9	94.1 %					

■ アンケート結果

全体評価	回 答 回 数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足でき	どちらか 言うと 満足でき	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	16 件		9	6	1	0	0
	100 %		56.3 %	37.5 %	6.3 %	0 %	0 %



主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ■ 細かい説明でわかりやすく、楽しい研修でした。 ■ クラウドファンディングについてはこれ迄勉強する機会がなかった為有効であった。 ■ 自発性、社会性、無償性、創造性の意志が大切なのがありました。 ■ 今のボランティアグループの運営のノウハウが順序良くわかりました。こういう内容の講座は新しいと思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍で今後ボランティアをどう継続したら良いか、皆が試行錯誤している時期での開催だった。 ■ 改めてボランティアの基礎を学ぶ事ができた。 ■ ボランティアグループ運営の資金の流れやクラウドファンディングなど、これまでにない講座の内容で、受講者に好評だった。

■ 研修風景

平野所長 開会挨拶		ボランティア活動の基本	
講義 代表 古賀桃子氏		質疑応答	

— 令和4年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

1 目的 私たち社会福祉協議会では、『北九州市地域福祉活動第六次計画 2021～2025』の基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、第6次計画の3つの視点でもある、見守り・話し合い・助け合いのしくみを活かした「ふれあいネットワーク活動」を住民主体で進めています。
今回の研修では、3つの視点の一つである見守りを行う上で重要な「良好な人間関係と対話」に焦点を当てながら、対話スキルの向上と人間関係の構築について考え、今後の活動の参考としていただくことを目的とします。

2 実施主体 北九州市社会福祉協議会・北九州市

3 受講対象 門司区内の福祉協力員等

4 研修会場 門司生涯学習センター2階 第1、2研修室
(北九州市門司区栄町3-7)

5 参加費 無料

6 日時・内容 令和4年11月18日(金)

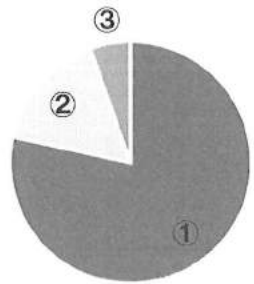
時間	内容	講師等
9:30～	受付	
10:00～	開会	門司区社会福祉協議会 会長 小田 穂積
10:05～ 11:50	講話「地域で活動するボランティアの 支援力向上のコツ」 ～雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ～	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
11:50～ 12:00	まとめ・閉会	門司区社会福祉協議会 事務所長 上田 善浩

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	46 人 6・32	38 人 82.6%	38 人	— 才			1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	どちらか 言うと 不満だった	不満だった
	37 件 97.4%	満足 できたか?	29 78.4%	6 16.2%	2 5.4%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 支援力向上のコツ。こんな時どうする？Q&Aは有益だった。
	■ 今後の活動に活かそうと思いました。とても良い話をありがとうございました。
	■ とても面白いお話でした。楽しみながら、内容はしっかりしていたので、参加してよかったと思いました。
	■ 初めての参加で中島先生の講話が拝聴できてラッキーでした。福祉協力員としての活動に不安があったのですが、もう少し続けさせていただこうと思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ禍での訪問活動時に福祉協力員の方々が直面する、対人援助技術の困り事について取り上げ、福祉協力員アンケートや、区事務所を通じて現場の困り事をレジメにQ&A方式で対応を示し、大反響があった。受講者が地域に持ち帰り地域福祉活動者間で自主研修資料として、活用されたとの声が多く出た程だった。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」〜雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ①	
閉会挨拶		講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」〜雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ②	

— 令和4年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会では、『北九州市地域福祉活動第六次計画 2021～2025』の基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、第6次計画の3つの視点でもある、見守り・話し合い・助け合いのしくみを活かした「ふれあいネットワーク活動」を住民主体で進めています。
今回の研修では、3つの視点の一つである見守りを行う上で重要な「良好な人間関係と対話」に焦点を当てながら、対話スキルの向上と人間関係の構築について考え、今後の活動の参考としていただくことを目的とします。

- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
3 受講対象 小倉北区内の福祉協力員等
4 研修会場 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」5階大セミナールーム
 北九州市小倉北区大手町11番4号
5 参加費 無料
6 日時・内容 令和4年11月29日（火）

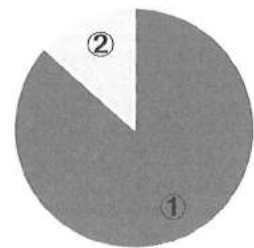
時間	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開会	小倉北区区社会福祉協議会 事務所長 島田 直樹
13:35～ 15:20	講話「地域で活動するボランティアの 支援力向上のコツ」 ～雑談力・聴く力等の向上で対 話による良好な人間関係の構築 を学ぶ～	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
15:20～ 15:30	まとめ・閉会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動セン ター 課長 松田 一喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	68人	70人	70人	—才		1日	2時間
		102.9%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	どちらかと言うと不満足だった	不満足だった
	63件	満足できたか?	52	9	2	0	0
	90.0%		82.5%	14.3%	3.2%	0%	0%



主な意見	■ 地域の方々との会話の仕方などで悩んでいましたが、先生のお話が大変役にたちました。
	■ 支援力向上のコツを教えてください、ありがとうございました。地域の皆様と楽しい会話ができますように努めていきたいと思ひます。
	■ 講義内容を参考に活動したいと思ひます。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 昨年の倍以上の福祉協力員が参加した。
	■ 講義内容は心を掴むもので、メモを取りながら熱心に聞き入っていた。
	■ アンケート評価もよく、満足度が高い研修だった。

■ 研修風景

開会挨拶		講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」〜雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ①	
講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」〜雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ②		閉会挨拶	

— 令和4年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会では、『北九州市地域福祉活動第六次計画 2021～2025』の基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、第6次計画の3つの視点でもある、見守り・話し合い・助け合いのしくみを活かした「ふれあいネットワーク活動」を住民主体で進めています。
 今回の研修では、3つの視点の一つである見守りを行う上で重要な「良好な人間関係と対話」に焦点を当てながら、対話スキルの向上と人間関係の構築について考え、今後の活動の参考としていただくことを目的とします。

- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
3 受講対象 小倉南区内の福祉協力員等
4 研修会場 小倉南生涯学習センター 3階 視聴覚室
 (小倉南区若園五丁目1-5)
5 参加費 無料
6 日時・内容 令和4年12月3日(土)

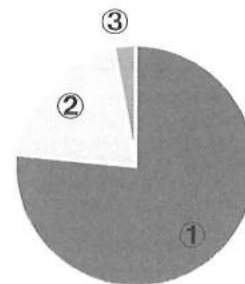
時間	内容	講師等
9:30～	受付	
10:00～	開会	小倉南区社会福祉協議会 会長 築別 邦博
10:05～ 11:50	講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」 ～雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ～	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
11:50～ 12:00	まとめ・閉会	小倉南区社会福祉協議会 事務所長 米原 徹二

■ 実施状況

受講者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	34 人	34 人 100 %	34 人	— 才		延 1 日	延 2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	34 件 100.0 %		26 76.5 %	7 20.6 %	1 2.9%	0 0 %	0 0 %



主な意見

- Q&A の No.8 までのことは日頃自分が思っていたことで、正解が分かった気がします。
- 貴重なお話ありがとうございました。これからの人生の糧となりました。学んだことを活かしながら自分を磨きつつ行動と智慧をもって人のために役立てていきたいと思えます。

■ 事業点検

点検・講評
(今後の取り組み)

- 今年度から現任福祉協力員研修の講師を臨床心理士でもられる西南女学院大学の中島俊介教授に変更し、受講者の反応を注視していたが、小倉南区でも好評で、コミュニケーションをとるコツや人間関係を築くコツがわかりやすく学べたとの感想が多く見られた。狙い通り支援力向上につながる研修が実施できた。

■ 研修風景

開 会		開 会 挨 拶	
講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」～雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ①～		講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」～雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ②～	

— 令和4年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会では、『北九州市地域福祉活動第六次計画 2021～2025』の基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、第6次計画の3つの視点でもある、見守り・話し合い・助け合いのしくみを活かした「ふれあいネットワーク活動」を住民主体で進めています。
 今回の研修では、3つの視点の一つである見守りを行う上で重要な「良好な人間関係と対話」に焦点を当てながら、対話スキルの向上と人間関係の構築について考え、今後の活動の参考としていただくことを目的とします。

- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
3 受講対象 若松区内の福祉協力員等
4 研修会場 クレカ若松【ボートレース若松内】
 2階 市民ホール（若松区赤岩町13-1）
5 参加費 無料
6 日時・内容 令和4年11月15日（火）

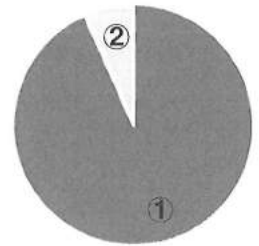
時間	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開会	若松区社会福祉協議会 事務所長 木下 義憲
13:35～ 15:20	講話「地域で活動するボランティアの 支援力向上のコツ」 ～雑談力・聴く力等の向上で対 話による良好な人間関係の構築 を学ぶ～	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
15:20～ 15:30	まとめ・閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	48人	46人	46人	—才		1日	2時間
		95.8%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	どちらかと言うと不満だった	不満だった
	45件	満足できたか?	42	3	0	0	0
	97.8%		93.3%	6.7%	0%	0%	0%



主な意見

- 地域の活動を先生の話聞く事で振り返ることができました。勉強になりました
- 人生が楽しくなるよおうな話を受講できてとてもよかったです。
- あきの全くこない笑顔あふれるお話に、何度もくすつと笑いました。また自宅に帰ってテキストを見直して、身につけたいと思います。人のふるまいってとても心が洗われますね。尊敬しあえる地域を広げていきますね。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)

- ユーモアあふれる講義で、心に響く内容だと大好評だった。
- 最初は関心のなかった参加者まで、話にひきこまれていき、熱心にうなずきながら、講義を聞く姿勢が印象的だった。
- これからも、地域の力の向上につながるような研修を開いていきたい。

■ 研修風景

開会挨拶		講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」～雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ①～	
講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」～雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ②～		講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」～雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ③～	

— 令和4年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会では、『北九州市地域福祉活動第六次計画 2021～2025』の基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、第6次計画の3つの視点でもある、見守り・話し合い・助け合いのしくみを活かした「ふれあいネットワーク活動」を住民主体で進めています。
今回の研修では、3つの視点の一つである見守りを行う上で重要な「良好な人間関係と対話」に焦点を当てながら、対話スキルの向上と人間関係の構築について考え、今後の活動の参考としていただくことを目的とします。

- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
3 受講対象 八幡東区内の福祉協力員・ふれあい通信員等
4 研修会場 レインボープラザ7階71会議室（八幡東区中央二丁目1-1）
5 参加費 無 料
6 日時・内容 令和4年10月31日（月）

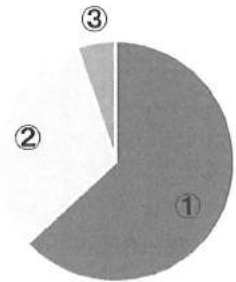
時間	内 容	講師等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会	八幡東区社会福祉協議会 会長 半田 康行
13:35～ 15:20	講話「地域で活動するボランティアの 支援力向上のコツ」 ～雑談力・聴く力等の向上で対 話による良好な人間関係の構築 を学ぶ～	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
15:20～ 15:30	まとめ・閉 会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 所長 平野 謙太

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	21 人	19 人	19 人	— 才			1 日	2 時間
	14・5	90.5 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	19 件		12	6	1	0	0
	100.0 %		63.1 %	31.6 %	5.3 %	0 %	0 %



主な意見	■ 思いがけず、とても面白い内容でした。聴く力（質問する力）や対話を阻むものについて、とても学びがありました。家族にも伝えたいと思います。
	■ おっしゃることが多くの点で“なるほど”、“そのとおり”など思い当たるところがありました。気を付けなければならないことは、改めていこうと思います。しかし、「ボランティア」＝「好きだからしている」とか「関係ない」、「今さら」という人のなんと多い事！資料を読み直し、改めるべきは改めたいと思います。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 市内でも心理学分野で人気の高い講師を新規開拓したため、参加者数が2倍以上に増えた。
	■ コミュニケーション力を向上させるには、聞く8：話す2の割合で、聞く＝質問する事であり、質問上手を目指すという講話に参加者の多くが聞き入っていた。

■ 研修風景

開 会 挨拶		講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」～雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ①～	
講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」～雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ②～		開 会 挨拶	

— 令和4年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会では、『北九州市地域福祉活動第六次計画 2021～2025』の基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、第6次計画の3つの視点でもある、見守り・話し合い・助け合いのしくみを活かした「ふれあいネットワーク活動」を住民主体で進めています。
- 今回の研修では、3つの視点の一つである見守りを行う上で重要な「良好な人間関係と対話」に焦点を当てながら、対話スキルの向上と人間関係の構築について考え、今後の活動の参考としていただくことを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 八幡西区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** コムシティ7階子どもホール（八幡西区黒崎三丁目15-3）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 令和4年11月8日（火）

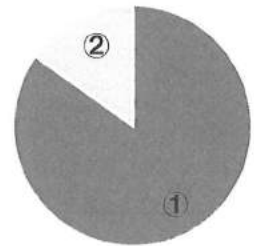
時間	内容	講師等
13:00～	受付	
13:30～	開会	八幡西区社会福祉協議会 会長 奥尾 一雄
13:35～ 15:20	講話「地域で活動するボランティアの 支援力向上のコツ」 ～雑談力・聴く力等の向上で対 話による良好な人間関係の構築 を学ぶ～	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
15:20～ 15:30	まとめ・閉会	北九州市社会福祉協議会 八幡西区社会福祉協議会 事務所長 久留島 一暢

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	35 人	35 人	35 人	— 才			1 日	2 朝
	11・24	100.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	どちらか 言うと 不満足だった	不満足だった
	33 件		28	5	0	0	0
	94.3 %		84.8 %	15.2 %	0 %	0 %	0 %




主な意見	■ これからのボランティア活動するにあたりコツがわかり、自分の気持ち、感情を相手に押し付ける危険性を感じた。気をつけて相手と関わって行きます。
	■ 今日からのボランティア活動に取り入れられるお話でした。活動に悩んだ時は、資料を読み返したいと思います。
	■ 自分を律する事で福祉協力員として努力します。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容が分かり易く楽しかったと大変好評だった。
	■ 福祉協力員としての活動だけでなく、日頃の生活にも役立つ内容で、参加の皆さんの今後の考え方や、行動にも良い影響を与えてくれるのではないかと思います。
	■ 今後も受講者の“気づき”に繋がる研修を心掛けたい。

■ 研修風景

受付		奥尾会長 開会挨拶	
	講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」～雑談力・聴く力等向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ～」		閉会挨拶

— 令和4年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会では、『北九州市地域福祉活動第六次計画 2021～2025』の基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、第6次計画の3つの視点でもある、見守り・話し合い・助け合いのしくみを活かした「ふれあいネットワーク活動」を住民主体で進めています。
- 今回の研修では、3つの視点の一つである見守りを行う上で重要な「良好な人間関係と対話」に焦点を当てながら、対話スキルの向上と人間関係の構築について考え、今後の活動の参考としていただくことを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 戸畑区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 戸畑区役所 3階大会議室（戸畑区千防1-1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和4年11月22日（火）

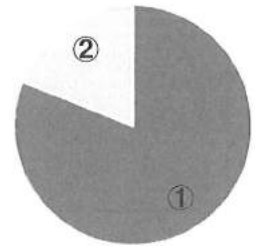
時間	内 容	講師等
9:30～	受付	
10:00～	開 会	戸畑区社会福祉協議会 会長 福田 泰治
10:05～ 11:50	講話「地域で活動するボランティアの 支援力向上のコツ」 ～雑談力・聴く力等の向上で対 話による良好な人間関係の構築 を学ぶ～	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
11:50～ 12:00	まとめ・閉 会	北九州市社会福祉協議会 戸畑区社会福祉協議会 事務所長 橋本 浩司

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	23 人	24 人	24 人	— 才			1 日	2 時間
	6・17	104.3%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	22 件	満足 できたか?	17	4	0	0	0
	91.7%		77.3%	18.2%	0%	0%	0%



主な意見	■ はじめて民生委員をやるのが不安だった私に勇気と元気を与えて頂きました。とても有意義な時間を過ごすことができました。
	■ 人との交流はやはりコミュニケーション能力だと常に思っていたので今日のお話で分かった。人としての生き方、今から考えてゆきたい。
	■ 人間関係をうまく築いていく為に変参考になりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ わかり易く、ユーモアを交えた講義で好評だった。
	■ 人間関係を築く上での対話のスキルを学ぶことが出来、福祉協力員として、どう接していけば良いか、今後の活動に役立つ内容だった。
	■ スキルアップに繋がる研修で、皆さんのモチベーションアップへと繋げたい。

■ 研修風景

福田会長 開会挨拶		講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」〜雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ〜①	
橋本事務所長 閉会挨拶		講話「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」〜雑談力・聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ〜②	

令和4年度 地域福祉活動専門研修 実施要領

福祉の心を育もう

～ 福祉の心が根づくまちづくりに向けて ～

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、小地域における福祉活動の要である校（地）区社協が中心となり、地域の福祉活動に取り組んでいます。
地域の福祉活動を進める上で、多くの校（地）区社協において、一人ひとりの福祉意識を高め、共生文化の醸成を目的とした福祉教育が、様々な工夫を凝らし子どもと大人の笑顔とともに実践されています。
本研修では、福祉教育の意義を学ぶとともに、子どもを主役とした福祉教育の事例を紹介し、楽しく、未来につながる実践方法について考えます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた3階中ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 4 対象者** 校（地）区社会福祉協議会の役員、福祉協力員、民生委員・児童委員など
【定員 80 名】
- 5 受講料** 無料
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 6 日程・内容** 令和4年12月8日（木）

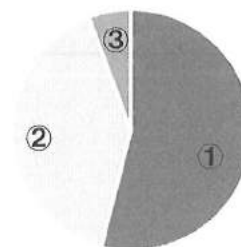
時間	プログラム	講師等
13:30 ～13:40	北九州市社会福祉協議会 オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 北九州市社会福祉協議会
13:40 ～14:50	次世代の地域福祉を担うこどもたちを育む福祉教育の事例に学ぶ ～ 事例発表 ～	コーディネーター 北九州市立大学 地域創生学群 准教授 坂本毅啓
	◆発表① 「ウェルクラブ活動を通じたふくしのまちづくり」	八幡西区 赤坂地区社会福祉協議会 会長 森井良郎
	◆発表② 「未来を担う 子ども達のために」	戸畑区 牧山地区社会福祉協議会 会長 横田健治
～15:00	パネルディスカッション 休憩	
15:00 ～15:50	講義 福祉を学び、福祉の仲間を育てていく	北九州市立大学 地域創生学群 准教授 坂本毅啓
～16:00	閉講	北九州市ボランティア大学校

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	116人 57・59	114人 98.3%	114人	—才		1日	3週

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらか いと その通り	どちらも いらない	どちらかと言う ところでもない	全くそのでない
	91件 79.8%		47 51.6%	35 38.5%	5 5.5%	0 0%	0 0%



主な意見

- 子どもの少ない地区からの研修参加だったので、どうかと思いました。いろいろなヒントを貰えました。どういう地域に住みたいか、どういう地域にしたいのか、私の地区は10年後には都市部の限界集落になるかもなんて思う程、高齢化が進んでいます。高齢化は悪？ふっきました。高齢者が元気に暮らせる地域が大事だと思いました。ヒントがいっぱいありました。
- 我が町では何ができるか、考えてみる機会を得ました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 事例発表での2地区の発表がわかりやすく好評だった。
	■ パネルディスカッションの時間が長くなり、その分講師の講義時間が短くなったが、全体的な内容が濃厚だったので、参加者にとって満足のいく研修だったと思う。
	■ 質疑応答の時間が短いとの声があった。時間配分の検討も含めて次回の課題としたい。

■ 研修風景



令和4年度 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」実施要領

ソーシャルワークの視点からみた地域の見守り活動 ～「ひとり」を大切に、「ひとり」が大切にされる地域を目指して～

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、校(地)区社会福祉協議会において、「ふれあいネットワーク活動」を中心に、住民がお互いを見守り、支え合い、孤立しがちな人々とのつながりを強め、生活課題の発見や解決を支援していく取り組みを進めているところです。
本セミナーは、こうした活動を進める小地域福祉活動のリーダーを担う方を対象に、社会・経済情勢の変化を見据え、これからの社会福祉の大きな流れをつかみ、今後の地域福祉活動の指標にさせていただくことを目的としています。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた3階大ホール(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 校(地)区社協 正・副会長、小地域福祉活動においてリーダー的役割を担う方 **【定員 200名】**
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和5年3月2日(木)

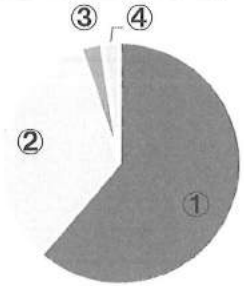
時間	内 容	講 師 等
13:30 ～	受 付	
14:00 ～	開 会	北九州市社会福祉協議会 会 長 垣 迫 裕 俊
14:10	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
14:10 ～ 15:55	講 義 ソーシャルワークの視点からみた 地域の見守り活動 ～「ひとり」を大切に、「ひとり」が 大切にされる地域を目指して～	同志社大学 社会学部 社会福祉学科 教 授 空 閑 浩 人
15:55 ～ 16:00	閉 会	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校 長 久 塚 純 一

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)						
	213 人	211 人	211 人	— 才	延 1 日	延 2 時間	
	122・ 91	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回線)		非常に有意義	どちらかと言と有意義	どちらとも言えない	あまり参考にしない	全く参考にしない
	173 件	満足できたか?	105	57	5	4	0
	82.0 %		60.7 %	32.9 %	2.9 %	2.3 %	0 %

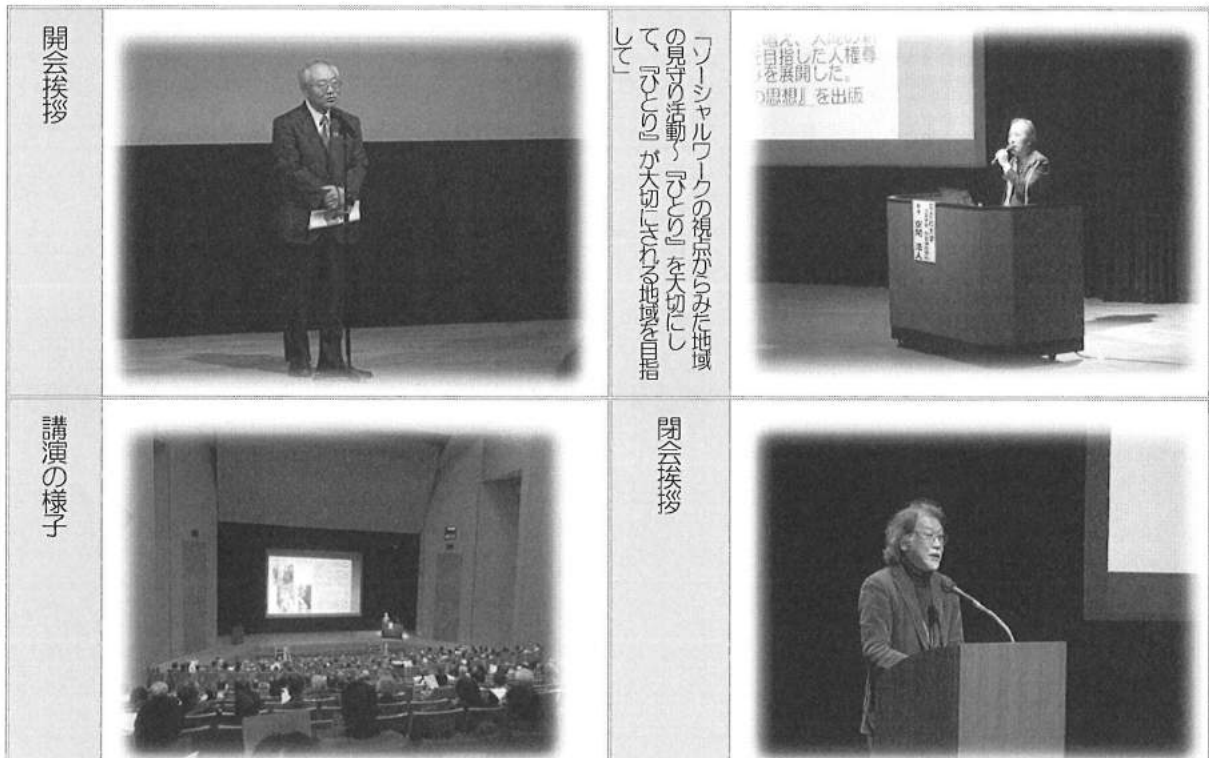


主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ とても勉強になりました。永く地域活動に関わっていますが、今日の先生のお話をうかがって、自信を持つ事ができました。地域の人をおきざりにしないと心に決めて、今後も福祉活動ができる事に感謝しながら、頑張っていきます。 ■ 本日の講座のテーマに添って、映画、アニメ、アニメ主題歌、童話集を題材に分りやすく、重要性について講演いただき、大変有意義な時間でした。 ■ ヒントがたくさんありました。今後の活動に役立ちました。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、開催した。昨年は録画配信だったが、今年は大勢の方が来場された。 ■ 講演は、本やアニメのセリフを引用しながら、地域福祉のあり方や考え方など多岐にわたり、心に響く分かりやすい講演だった。 ■ ソーシャルディスタンスの座席表示が背面にあり、わかりにくいと指摘があったので、誘導、案内に気をつけたい。 ■ 講演を録画し、当日参加できなかった人も視聴できるように配信した。
--------------------	--

■ 研修風景



— 令和4年度 —

校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、校(地)区社会福祉協議会が中心となり、地域住民主体の小地域福祉活動を展開しています。
今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に、社協活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくのか、市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた3階中ホール（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 新たに校(地)区社会福祉協議会役員に就任された方 【定員80名】
（新任の会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等）
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和4年6月30日（木）

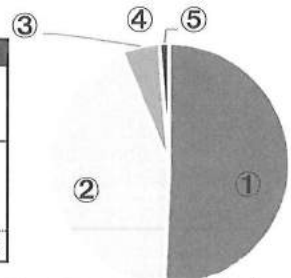
時間	内 容	講 師 等
13:00 ～	受 付	
13:30 ～ 13:40	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 常務理事 山田 英彦
13:40 ～ 14:00	講 義 「小地域福祉活動の意義と 校(地)区社協運営について」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 杉本 真奈美
14:00 ～14:45	事例紹介 事例で学ぶ「校(地)区社協の運営」	コーディネーター 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 杉本 真奈美
	事例Ⅰ 「ニーズ発見から校区の取り組みについて」	小森江東校区社会福祉協議会 会 長 都城 俊彰
	事例Ⅱ 「世代各層の参加による地域活動のすすめ」	中井校区社会福祉協議会 会 長 後藤 昭二
～14:55	休 憩	
14:55 ～16:15	講 義 「地域の関係団体との連携・協働」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
～16:20	閉 会	北九州市ボランティア大学校 校 長 久塚 純一

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	102 人	104 人	104 人	— 才		1 日	3 時間
	—・—	94.6 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかという その通り	どちらとも言えない	どちらかと言うと そうでもない	全く そうでない
	81 件 77.9 %		40 49.4 %	34 42.0 %	4 4.9 %	0 %	1 1.2 %



主な意見	■ 事例を聞いて、私の町でも出来るかなと考えてみました。地域でみんなが参加して、地域住民に喜ばれることを考えてみたいと思います
	■ 若い人の後継者づくりには、感心しました。よいケースを学ぶことが出来ました。なかなか実行できるとは思いませんが、少しずつとり入れてみたいと思います。
	■ 中村先生のお話は、目からウロコ、考えさせられました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 事例発表は2校区とも分かりやすく、参考になることが多かった。
	■ 男性の出席者が多く、熱心に耳を傾けていた。
	■ コロナ禍の開催で感染防止策として、消毒、検温等も徹底し、研修の実施時間、会場の配席も、工夫した。滞りなく遂行できたが、時間が足りてないとの意見もあり、来年度は内容の時間配分も考えたい。

■ 研修風景

開会あいさつ		小地域福祉活動の意義と校(地)区社協運営について	
事例紹介		地域の関係団体との連携・協働	

— 令和4年度 —

まちづくりゼミナール 実施要領

- 1 目的** 「まちづくりゼミナール」は、主に、地域で活躍する指導者を支援するため、ゼミナール形式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。
今回の研修は、障害者施設と地域がつながることによって色々な相乗効果生まれ、地域全体が活性化してきた事例を学び、今後の地域づくりの参考にさせていただくことを目的とします。
- 2 実施主体** 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
- 3 受講対象** 校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会の役員
市民センター館長等 30名
- 4 研修会場** ウェルとばた 12階 H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 5 研修日時** 令和4年9月15日（木）、10月13日（木）、11月17日（木）
いずれも10：00～12：00
- 6 参加費** 無料
- 7 テーマ** 「障害者施設・団体と地域がつながることによる
地域住民の意識や活動の変化について考える」

8 研修内容

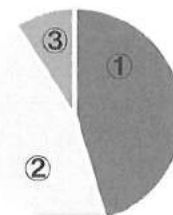
日程	内容	講師
一 目 目 9月15日 (木)	コーディネーター 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一	
	■障害者施設が持つ専門性と地域がうまく結びついている事例を学ぶ	事例Ⅰ 社会福祉法人 光の子会 理事長 岩切 雄太 事例Ⅱ 社会福祉法人 桑の実工房 理事長 桑園 英俊
二 目 目 10月13日 (木)	■地域の中にある障害者支援団体やNPO法人が地域と積極的に交流を進めている事例の紹介	事例Ⅲ NPO法人 わくわーく 理事長 小橋 祐子 事例Ⅳ NPO法人 ねぎぼうずの里 理事長 溝野 ゆかり
	■障害者施設・団体とのつながりがもたらす地域や住民の変化	事例Ⅴ 高見校区社会福祉協議会 事務局長 堤川 博章 事例Ⅵ 松ヶ江北市民センター 館長 小牟田 尚美

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	19人	16人	43人	—才		3日	6日
	10・9	84.2%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回)		満足できた	どちらかと言え満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	12件	満足できたか?	5	5	1	0	0
	75%		41.7%	41.7%	8.3%	4.0%	0%



主な意見	■ 北九州市内の施設で一步前に出た活動を実施されているリーダーの活動に感銘した。
	■ 自分の市民センターに於いて何が出来るか、考えさせられる良い機会となりました。
	■ 「継続は力」と自然に思えるようになりたい。「つながり」(地域と施設・団体)にはそこに居るキーパーソンがいる。そこに「つながるパワー」があり、その力が広がりを持つ事ができると思う。このような研修がある事で、新しい発見がある。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 地域の連携を深め、協力を進め地域のつながりを作っていくにあたって、今ある問題を解消していくことが課題であると感じた。研修を継続することで、問題点への気づきや他地区との意見交換・情報共有などにより活動の取組み方の参考になっていく。
	■ 今後は若い世代とのつながりや後継者育成など課題に取り組み、まちづくりという持続的な活動を支援する為、このような研修を継続していきたい。

■ 研修風景

<p>一〇日目 事例「障害児施設が持つ専門性と地域がうまく結びついている事例を学ぶ」</p>		<p>二〇日目 事例「地域の中にある障害児支援団体やNPO法人が地域と積極的に交流を進めている事例の紹介」</p>	
<p>三〇日目 事例「障害児施設・団体とのつながりがもたらす地域や住民の変化」</p>		<p>一日目 ディスカッション</p>	

令和4年度 企業の社会貢献活動セミナー 実施要領

企業にできる子どもの健全育成について

未来を託す子どもたちのために企業ができる支援とは何かを考える

- 1 目的** 本セミナーでは、様々な企業の社会貢献活動の中、地域の宝でもある子どもたちに焦点を当て、企業が、子どもの育成や、子育てにどうかかわることができるかを地域との関係づくりを通して考えていくことを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 各企業の社会貢献活動担当者及び活動者(定員 30 名)
ZOOM の操作確認が各自事前にできる方
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 4 研修形式** ZOOM を使用したオンラインセミナー
- 5 受講料** 無 料
- 6 日程・内容** 令和5年1月27日(金)

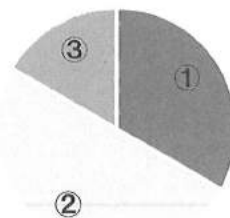
時 間	内 容	講 師 等
13:00~	受 付	
13:30~	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:40~ 14:40	【講義】 企業にできる子ども育成に関わる様々な取組について	北九州市立大学 地域戦略研究所 地域創生学群 教授 深谷 裕
14:40~ 14:50	休 憩	
14:50~ 15:50	【グループワーク】 (ZOOM・ブレイクアウトルーム) 自社でできることを検討し、 他企業とも共有する	
~16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研修等 研日数	開催日数	研修時間		
	(男・女)	(出席率)				11 人	— 才	1 日	2.5 朝
	12 人	11 人							

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		非常に有意義だ	どちらかと言うと有意義だ	どちらとも言えない	あまり参考にならない	全く参考にならない
	6 件 54.5 %		2 53.8 %	3 46.2 %	1 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 体系的に様々な説明を頂けて勉強になりました。
	■ 持続可能な社会の実現が求められている企業において、次世代を担う子どもや行政及び大学などと連携・協働で臨むことが課題解決の一助となる。
	■ 他社様の具体的な事例を知ることができてよかった。また、男性の育休制度について課題感があるという点を共有できたのもよかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ Zoomでのオンラインセミナーを実施した。接続トラブルなどは無く、参加者も慣れた様子でスムーズに開催することができた。
	■ グループワークは2チームに分け、それぞれ職員をファシリテーターとして配置した。活発な討議が行われ、「子育て支援における各社の対応が聞けて参考になった」「他企業の方も同様な悩みを持っておられる」などの声が聞かれた。
	■ それぞれの立場で社会貢献に関する意見が聞かれ、とても有意義な研修だった

■ 研修風景

「企業にできる子ども育成に関わる様々な取組について」講義		「企業にできる子ども育成に関わる様々な取組について」講義	
オンラインでの受講者		ブレイクアウトルームでのグループワーク	

令和4年度 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 実施要領

社会福祉法人の地域における公益的な取組について

- 1 趣 旨** 令和元年8月に市内の各種別の社会福祉施設協議会(6団体)と北九州市社会福祉協議会が「地域における公益的な取り組みの推進に関する協定」を締結しました。以来、この協定を基に住民主体で福祉活動を進める校(地)区社協と、専門的な支援を可能とする社会福祉施設が連携を強め、「地域における公益的な取り組み」を推進しています。
- 本セミナーでは、社会福祉法に規定される「地域における公益的な取り組み」について、その意義と3つの要件を確認すると共に、実践事例を通して理解を深め、取組の普及をはかります。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 社会福祉法人の代表者・実務担当者、協力団体など
(Zoomを使ってオンライン受講できる方)
- 4 形 式** Zoomを使用したオンラインセミナー(事前申込制)
- 5 実施日時** 令和5年2月15日(水) 14:00～15:30
- 6 参加費** 無料

7 研修内容

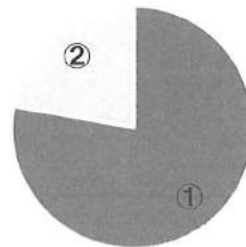
時 間	内 容	講 師 等
13:30～	受 付	
14:00～	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
14:05～ 14:30	基調説明 「地域における公益的取組」とは	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部長 杉本 真奈美
14:30～ 15:00	実践発表 社会福祉法人の「地域における公益的な取組 み」実践発表に学ぶ	社会福祉法人 光の子会 理事長 岩切 雄太 社会福祉法人 南風会 ヘルシーハイム 施設長 五味 伸治
15:00～ 15:30	パネルディスカッション	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部長 杉本 真奈美
～15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	18人 10・8	16人 88.9%	16人	—才		1日	1.5時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか と 言う と 有意義だ	どちら とも 言 え ない	あまり 参 考 に な ら ない	全く 参 考 に な ら ない
	9 件 56.3%		7 77.8%	2 22.2%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 自法人で何ができるか、出来そうかと考える機会になりました。
	■ 地域に根差した事業を行っている為、地域と共に、という意識は大変重要と考える。
	■ 他事業所の取り組みを聞くことができ、とても参考になりました。
	■ 職員の負担を心配しましたが、双方が楽しむ事も大切です。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 実践発表は、それぞれの施設の特色を活かしながら地域貢献の取り組みをされている内容だったので、受講者の関心も高かった。
	■ 受講者から、“公益的な取組と親和性のあるテーマとして、SDGsを取り上げてほしい”との意見があった。今後の講座内容の検討時、受講者からの要望として参考にしたい。

■ 研修風景

「地域における公益的な取組とは」 基調説明		実践発表「社会福祉法人の『地域における公益的な取組』実践発表に学ぶ」	
実践発表「社会福祉法人の『地域における公益的な取組』実践発表に学ぶ」		パネルディスカッション	

**令和4年度
ボランティアコーディネート研修 実施要領**

ボランティアとのかかわり方を学ぼう!!

～ いま求められるボランティアコーディネーションとは ～

- 1 目的** 社会福祉施設や市民センター・校(地)区社協等でボランティア受入担当者(ボランティアコーディネーター等)を対象に、施設利用者、ボランティア、担当者それぞれにとってプラスになるようなコーディネーションとは何かを学びます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場は限りがございます。公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 社会福祉施設や病院、市民センター、校(地)区社協活動等において、ボランティアコーディネーション(ボランティア受入等)を担う方【定員30名】
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容**

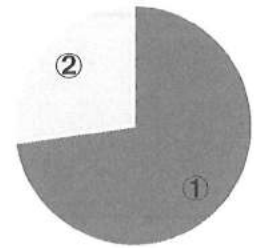
日時	内容	講師
	13:30 受付	
令和4年 7月28日 (木)	14:00 開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	14:05 ～ 14:45 事業紹介 「ボランティア活動について」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
	14:50 ～ 16:10 講義 「人生100年時代とボランティア ～超高齢化社会に向けたボランティア のあり方について考える～」	ニリエテラスケアちえずむ 代表取締役 有馬 由之助
	16:15 閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	18人	11人	11人	59才		1日	2時間
	7・11	61.1%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	どちらかと言うと不満足だった	不満足だった
	11件	満足できたか?	8	3	0	0	0
	100.0%		72.7%	27.3%	0%	0%	0%



- 言葉で簡単にボランティアという言葉が発しているが、実はひとつひとつの活動に意味意義があり、大変奥深い物だと改めて学びました。
- データや例が具体的でわかりやすかった。
- ボランティアをする側、受け付ける側の考えを再認識できた。介護の本質「自立支援」の中途半端な優しさやお世話をするという事の違いを知れた。

■ 事業点検

- 点検・講評 (今後の取り組み)
- コロナ感染拡大に伴い、消毒・換気・密の回避等を徹底した。
 - 施設内での感染拡大等により、欠席者が多かった。
 - ボランティアとはどうあるべきかを具体的に分かり易く講義されたので、受講者にとって学ぶべきことが多かったと思う。

■ 研修風景



社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
地域福祉部 研修課

(北九州市社会福祉ボランティア大学校)

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた3階

TEL 093(881)6321

FAX 093(881)6306

ホームページ <http://www.kitaa-shakyo.or.jp/active/vol-about/vol-collage/>